

コロナ禍における子育て家庭の困窮実態調査

非常時に必要な支援とは？



NPO法人飛騨高山わらべうたの会

2021年度ドコモ市民活動団体助成事業

【はじめに一】

一昨年来、世界中を襲った新型コロナ感染症...

私達が活動エリアとしている飛騨地域では、広大な地域に集落が点在しているという環境の中、多くの子育て家庭が孤立しました。

特に、2020年3月末に発令された最初の緊急事態宣言下では、学校や保育園の休校、休園、児童センターや図書館の閉館、市の様々な検診や赤ちゃん教室などの中止、子育て支援イベントの中止という、まさしく妊婦や子育て家庭が「どうしたらいいの??」と途方にくれてしまう状況になってしまいました。

孤独や不安から産後うつ、ネグレクト、虐待など、深刻な状況に陥ってしまう母親も見られました。

そうした中、岐阜県内の行政機関、及びNPO法人や子育て支援団体は、様々な支援事業を展開し、多くの子育て家庭に寄り添ってきました。

今回の実態調査は、そのようなコロナ禍における子育て家庭の実態を調べると共に、どのような支援がありがたかったか、どのような支援が必要だったか、あるいは、行政に対しての要望等いろいろな声を集めさせていただきました。

そして、岐阜県の各圏域ごとに集計し、山間部、都市部、それぞれの特色や違いを表わしました。

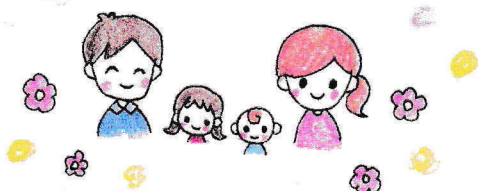
まだまだ収まる気配のないコロナ禍において、今後の子育て支援の参考になれば幸いです。

最後に、アンケート調査にあたって、岐阜大学 今村光章教授に設問の内容についてのアドバイスを頂き、実施方法については、岐阜県子ども家庭課様、ぎふNPOセンター 山田様にアドバイスを頂きました事、心から感謝御礼申し上げます。

また、実施にあたり、ぎふNPOセンター様、県内各市町村子育て支援課様、中日新聞様、NPO法人グッドライフサポートセンター、NPO法人クローバ！様、NPO法人キッズスクエア瑞穂様、NPO法人くすくす様、NPO法人mama's cafe様、NPO法人みんな子育てドロップス様、NPO法人かばさんファミリー様、NPO法人ママプラザほっと様、乳幼児教室はびるん様、Hida mommy様、ひだママフェスタ様に多大なるご協力を頂きました事、重ねて篤く感謝御礼申し上げます。


この度、ドコモ市民活動助成をご採択賜わり、私どものような小さなNPOが、県内の子育て支援に関わる多くの方々のご協力の下、このような実態調査をさせて頂けましたのは、本当に感謝しかありません。

運営母体であるNPO法人モバイルファンドコミュニケーション様、誠にありがとうございました。



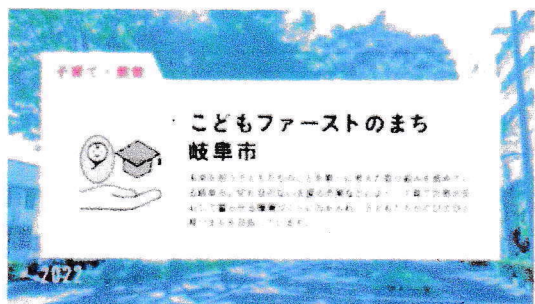
NPO法人飛騨高山わらべうたの会
理事長 岩塚久案子

各圏域ごとの集計

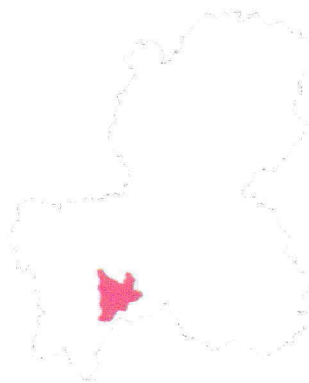
- (1) 集計にあたっては、岐阜市、岐阜圏域、東濃圏域、西濃圏域、中濃圏域、飛騨圏域の6圏域に分ける形を取らせて頂きました。
- (2) 圏域別に集計した目的は、圏域によりコロナ感染症対策や支援内容が違うのではと仮説を立てたのと、都市部と中山間地域では子育てサポートの環境が違うのではと予想されたからです。
- (3) アンケートは、各圏域で活動している子育て支援団体（NPO法人）に調査協力を依頼しました。圏域別のアンケートURLをお知らせし、オンラインで回答頂く方法をとりました。
- (4) また、1月19日付中日新聞紙面に、アンケートへの調査依頼と共に、圏域別のQRコードを掲載して頂きました。
- (5) 更に、いくつかの行政機関に直接アンケートを送付し、行政機関内の職員の皆さま（子育て家庭）にもお答え頂きました。
- (6) 特に大切にしたのは、一番最後の設問「コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でも良いのでお書きください。」です。
できるだけ、全ての声を反映できるようにしました。また、深刻な内容については全文を掲載しています。
- (7) 回答数にはバラつきがあります。従いまして、圏域相互の比較は難しいと思いますが、圏域ごとの特徴は出ておりますので、ご参考にして頂けたらと思います。
- (8) できるだけ回答数をそろえようと努力いたしましたが、田舎の小さな団体ゆえ、力が及ばず申し訳ありません。しかしながら、そのような私達に対し、親身になってご協力下さいました行政、NPO法人、子育て支援団体の皆さま、そして中日新聞様には、心から感謝御礼申し上げます。

岐阜市

岐阜県県庁所在地



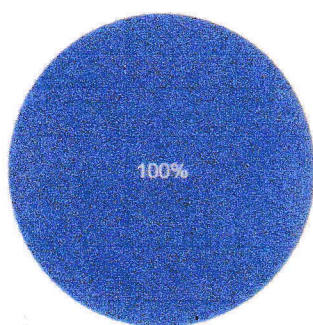
(エエトコタント岐阜市 より)



(ヤマショー株式会社HP 地図イラストより)

①あなた（お答えいただいている回答者）の性別を教えてください。

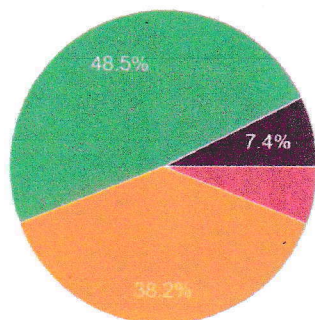
68 件の回答



● 女性
● 男性

②あなたの年齢を教えてください。

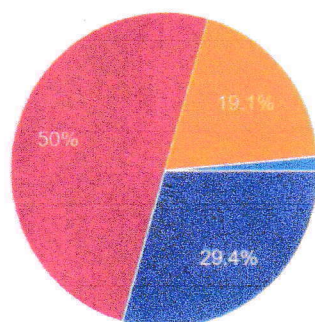
68 件の回答



● 10代
● 20代
● 30代
● 40代
● それ以上

③同居しているお子さんの人数を教えてください。

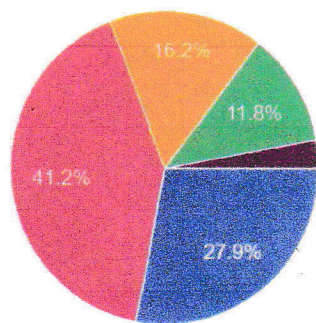
68 件の回答



● 1人
● 2人
● 3人
● 4人
● 5人
● それ以上

④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？

68件の回答



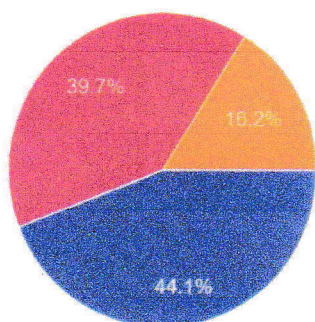
- 影響は全くない
- 影響はややある
- どちらでもない
- 影響はかなりある
- 影響は非常にある



「家計への影響が多少でもある」と答えた人
55.9%

⑤あなたは子育てにどれほど関わっていると感じていますか？

68件の回答

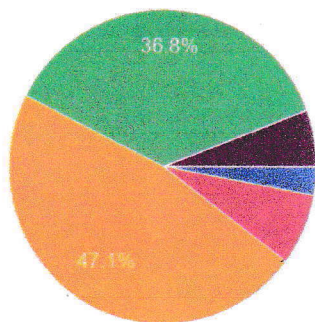


- ほとんど自分が子育てをしている
- どちらかといえば自分が主として子育てをしている
- 配偶者・同居者等とほぼ半分ずつ子育てをしている
- どちらかといえば、自分以外のかたが子育てをしている
- ほとんど子育てに関与していない

「自分が主に子育てしている」と答えた人
83.8%

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について教えてください。

68件の回答

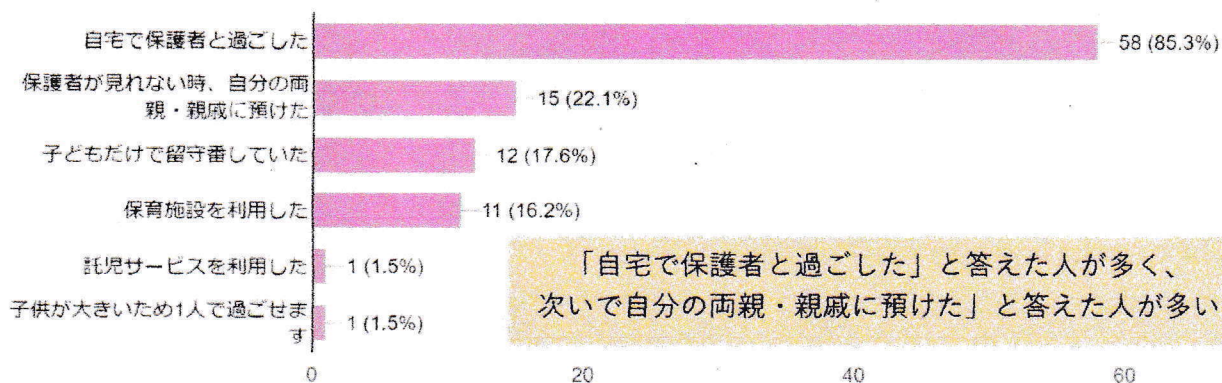


- 楽しいと感じる事が多くなった
- どちらかと言えば、楽しいと感じるようになった
- 変わらない
- どちらかと言えば、孤独や不安を感じるようになった
- 孤独や不安を感じる事が多くなった

「孤独や不安を感じる」と答えた人
44.2%

⑦緊急事態宣言期間中（2020年3～5月）、お子さんどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

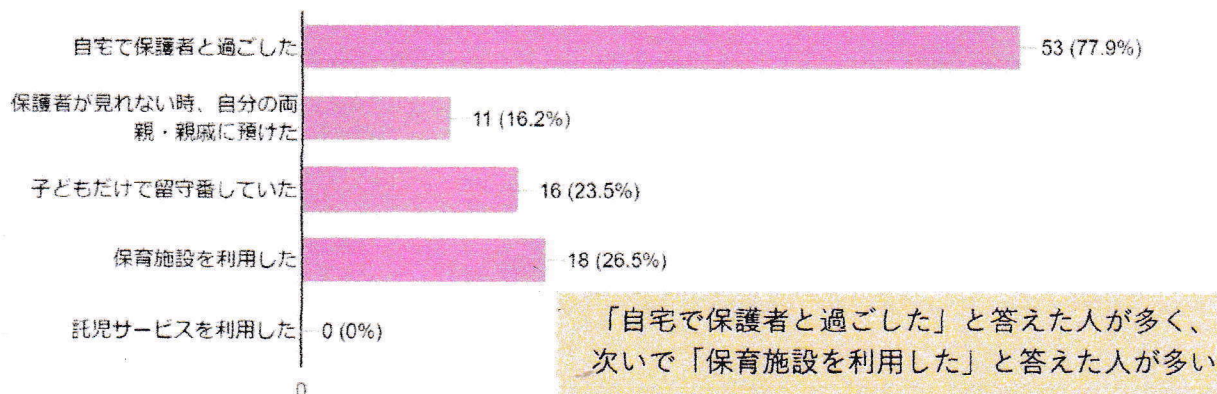
68件の回答



「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が多く、
次いで自分の両親・親戚に預けた」と答えた人が多い

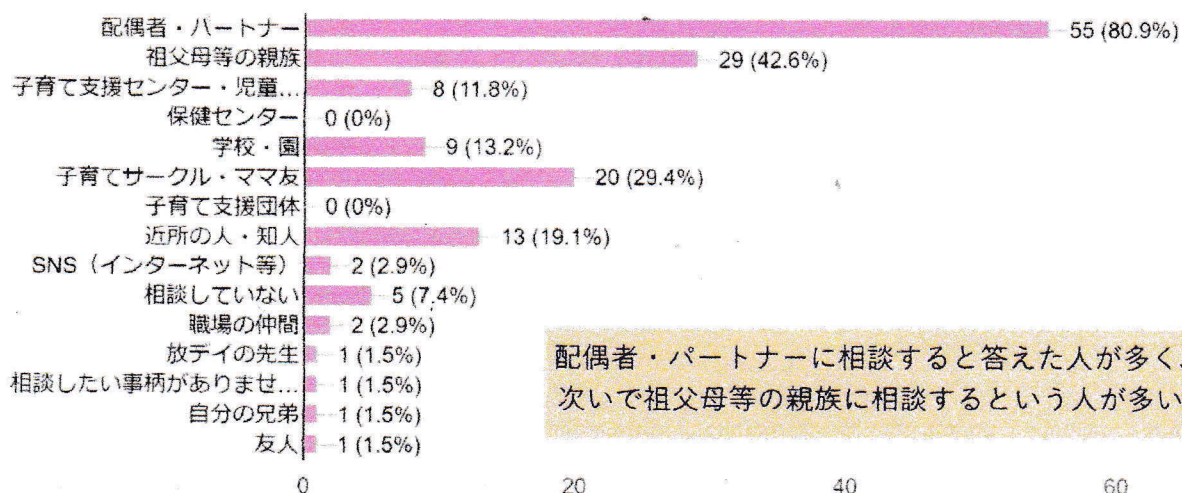
⑧緊急事態宣言期間中（2021年9月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

68件の回答



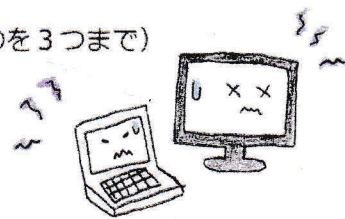
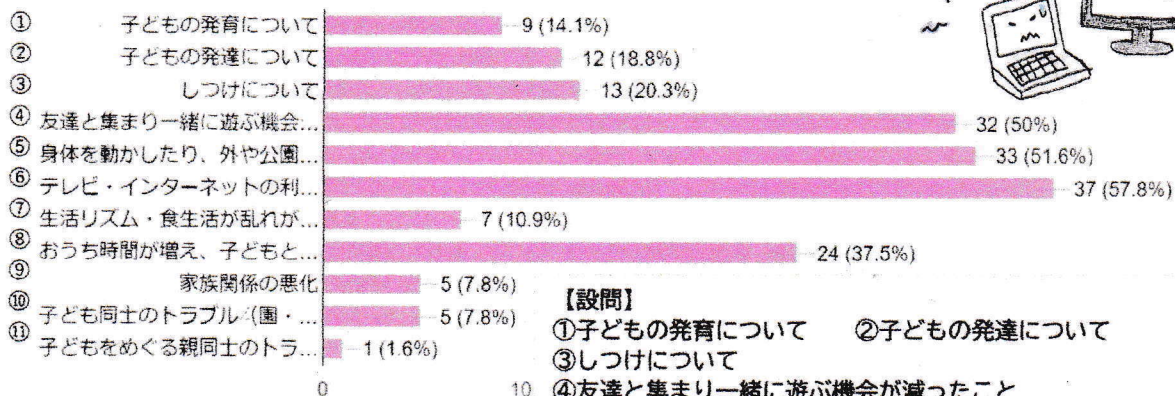
⑨コロナ禍において、子育てに関する相談は誰にされていますか。（複数回答可）

68件の回答



⑩相談したり、不安に感じた事がある方はどんな事ですか？（主なものを3つまで）

64件の回答



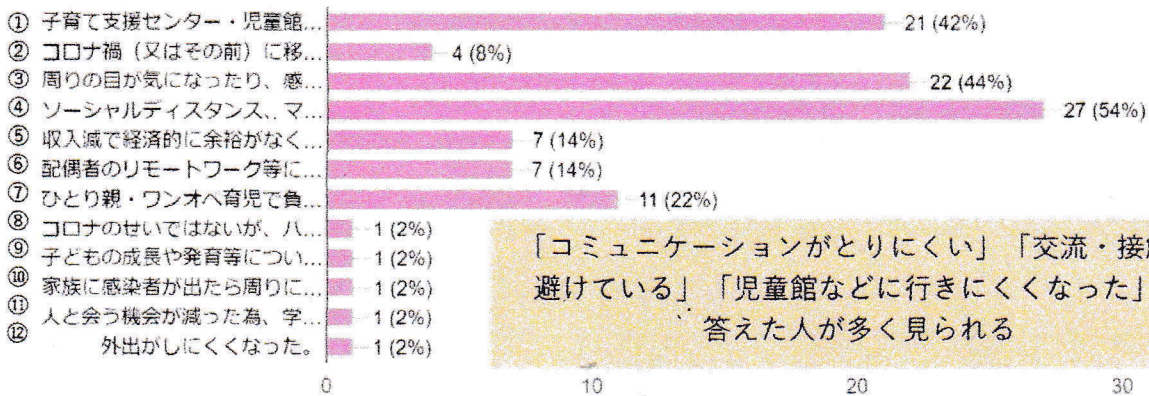
【設問】

- ①子どもの発育について
- ②子どもの発達について
- ③しつけについて
- ④友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減ったこと
- ⑤身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減ったこと
- ⑥テレビ・インターネットの利用が増えたこと
- ⑦生活リズム・食生活が乱れがちになったこと
- ⑧おうち時間が長、子どもと一緒にいる事への負担やストレス
- ⑨家族関係の悪化
- ⑩子ども同士のトラブル（園・学校・地域社会）
- ⑪子どもをめぐる親同士のトラブル（園・学校・地域社会）

テレビ・インターネットの利用が増えたり、体を動かしたり、外や公園で遊ぶこと、友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減った事など、主に、子どもの日常の過ごし方への心配が多く見られる

⑪不安や孤独を感じた事がある方は、どういう原因があると考えられますか？（主なものを3つまで）

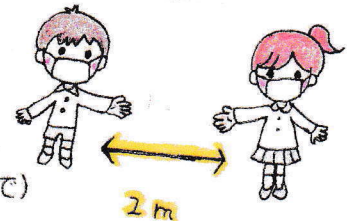
50件の回答



「コミュニケーションがとりにくい」「交流・接触を避けている」「児童館などに行きにくくなった」と答えた人が多く見られる

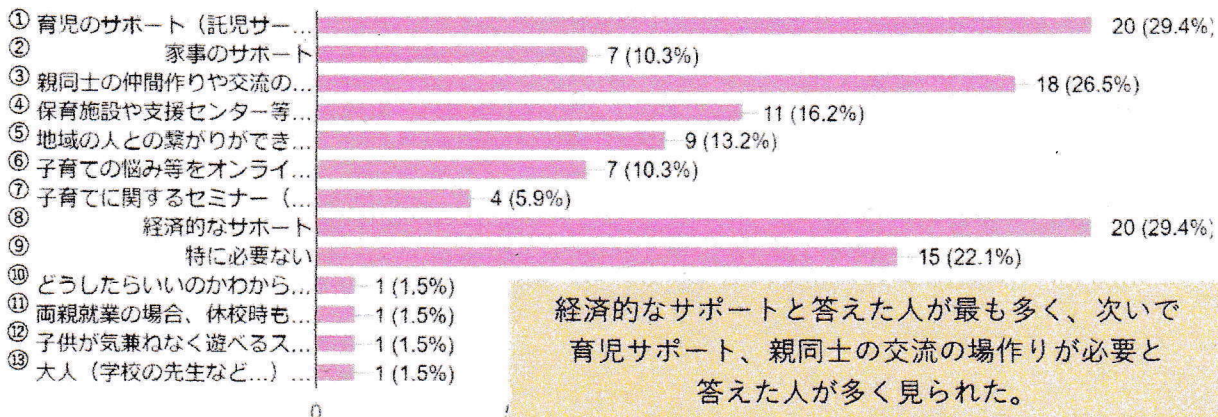
【設問】

- ①子育て支援センター・児童館の人数制限により行きにくくなった
- ②コロナ禍（又はその前）に移住した為、地域との繋がりを作れず、近くに頼れる人がいない
- ③周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けている
- ④ソーシャルディスタンス、マスク生活でコミュニケーションがとりにくい
- ⑤収入減で経済的に余裕がなくなった
- ⑥配偶者のリモートワーク等による生活サイクルの変化
- ⑦ひとり親・ワンオペ育児で負担がさらに増加
- ⑧コロナのせいではないが、パートナーが自分ごととして子どもの教育に携わっていない
- ⑨子どもの成長は発育等についてリアルタイムに相談する機会が失われたため、解決できないまま日常が流れていき、常に不安を抱えている
- ⑩家族に感染者が出たら周りに迷惑をかけるので、感染していないか不安
- ⑪人と会う機会が減った為、学校など日常生活の情報が得られにくい
- ⑫外出がしにくくなった



⑫必要としている支援・サービスを教えてください。（主なものを3つまで）

68件の回答



経済的なサポートと答えた人が最も多く、次いで育児サポート、親同士の交流の場作りが必要と答えた人が多く見られた。

【設問】

- ①育児のサポート（託児サービス等）
- ②家事のサポート
- ③親同士の仲間作りや交流の場（オンライン含む）
- ④保育施設や支援センター等とのつながり（オンライン含む）
- ⑤地域の人との繋がりができる場
- ⑥子育ての悩みをオンラインで相談できる窓口
- ⑦子育てに関するセミナー（オンライン）
- ⑧経済的なサポート
- ⑨特に必要ない
- ⑩どうしたらいいのかわからない
- ⑪両親就業の場合、休校時もしくはオンライン授業時の子どもの居場所
- ⑫子どもが気兼ねなく遊べるスペース
- ⑬大人（学校の先生など）は一方向的にコロナ対策を押し付けるだけではなく、子どもの話（精神的ストレス）にも耳を傾けてほしいです

⑬コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でもいいのでお書き下さい。

【不安・困ったこと・辛かったこと】

子どもの成長・健康・安全のこと

- 子どもにとって大切なイベントが中止になってしまっているのが、友だち関係や思い出作りができにくくなっていないか心配。
- 下校後友達と遊ぶ事を許していいのか判断がつかない。
- 本当に子どもがマスク生活をしなければならないのか疑問。
正常な発育を今一度考えて欲しい。大人の過剰な不安を受け取る子ども達の成長が心配。
- 上の子の時は、週3回は児童館に行っていたので、それがなくなった今、習い事しか頼れる所がない。
- 子どもの関わる行事も減って地域の人と子どもとの関わり等も無くなり将来大人になった時にご近所さんたちとちゃんとコミュニケーションが取れるのか心配。
- 学校行事が減って子どもの成長を感じることが出来ない。
- 自宅で過ごすことが多いのでどうしてもYouTubeやゲームをしてばかり。あまり良くないとは思いつつ、自分もその時間は自由なので放任しているところがある。
- 保育園での誕生日会が前日に延期になりとても悲しい顔をしていて、その顔が忘れられないくらいこちらも悲しい思いをした。
- 家族以外と関わる機会がほとんどない事が、心の成長に影響があるのではないかと不安になる。ママ友との関わりもなくなってしまった事が悲しい。このまま幼稚園へ入園することが大丈夫なのか不安。
- 色々な制限があり子ども同士も遊ぶ機会が減ったり出かける機会も減ってしまい、子どもがしっかりとストレス発散したり、思うように遊べていないことが今後の不安でもある。
- 中高生への支援が手薄。子どもたちは制限がある中、楽しみを見つけたりしているので、見た目にはさほど影響がないように思えるが、代わりにならないものはあり、欠けたものは補いようがない。コロナだから仕方がないでは、解決にならない。
- 子育てに関するセミナーの実施や受講がなくなったりオンラインになる中で、リアルな集まりがなく本心で話せる機会がない。でも子どもは日々成長していくため待ったなし。子どもとの関わりが大事とわかっていながらできていない現状がもどかしい。

親の仕事・環境

- パートナーが家庭内でパートナーになってない。
- 子どもが小学生になり、リモートワークや自宅学習になった際に仕事の都合をつけにくかったり、簡単に休めなかったりするため、仕事を続けられるか両立していけるか心配。
- 感染対策を、学校外の大人がいい加減な人が散見されて迷惑。
- 共働きのため、預ける場所がなく困ることがたくさんある。
- オミクロン感染が増えて大変な状況なのに。県外からの旅行者が絶えない事が不安。
- 気軽に外に遊びに行けなくなって、親子ともにストレスを感じている。

施設・制度のこと

- 遊ぶ場所がとにかかない。

【提案・要望】

- コロナ前のように児童館などでの昼食が食べられるようになると有難い。
- 外で遊べる場所や施設を増やして欲しい。
- 修学旅行がなくなったり、遠足がなくなったり子どもの体験の機会が減っている。
今だからできる思い出作りをさせてあげられるチャンスが欲しい。
- 人と話す機会が減り、オンラインでもいいから人と話す機会が欲しい。
- 受験など子どもの人生にとって特別な場面で感染してしまった時、安心して再チャレンジ出来る場の確保と心の不安がないよう大人が守ってあげられる世の中にしたい。
- 休校やオンライン授業になった場合、共働き家庭のことを考慮してもらいたい。
せめて小学校の間はそのような家庭の子は登校できるようにするか、もしくは子どもの安全のため親の欠勤を権利として認めてほしい。

【よかったこと】

- コロナをきっかけに、自分はどうしたいか、今必要か、工夫できることはあるか？など、一息置いて考える時間もできたように思う。
- 子どもと親が外で遊ぶ時間が逆に増えて、楽しさに気づいた。

【その他】

- 岐阜市における保育所入所について、希望している保育園に落ちて、遠い保育所しか空きがない場合等に、その遠い保育所を希望しなかったら、入園申し込みを取り下げさせることはおかしい。それで待機児童0だと言っているのはいかなものか。
- こんな時代となり、小さな子どもにもマスクを強要しなければいけない毎日に心を痛めます。参観や行事も子供の今は今しかないのに共有できる思い出も少なく、学校や園生活にも制限がでたり本当に可愛そうな時代だなぁと強く思います。親世代のストレスもそうですが、子ども達のストレスも心も心配になります。家族揃っての外出旅行がストレス発散方法だった我が家にとっては我慢ばかりの環境が続いています。コロナ禍でも少しでも子どもが楽しく過ごせるよう自粛生活の遊びをたくさんの工夫をこなしてきましたが、親だけでは限界があり、親だけでなく子ども達同士のオンラインでの交流の場や、共有できる時間もあればなぁと思っていました。また園の閉鎖中もオンラインで繋がったりして生活リズムを整えたり、お友達と何か繋がりがあれば刺激になるのになぁと思った事はあります。
また、感染がわかった時点での濃厚接触の有無判定が遅すぎる不安も毎日感じていました。保健所が混み合う中、私達がまずできる事は何か皆で共有し実行できる事はあると思います。共有できる手段があまりにも少なく感じました。
- 各家庭のコロナ禍の対応の違いにかなり温度差があると思う。
うちは夫の職業柄かなり厳しい方で、子どもたちにも色々と我慢させている部分があるなぁと思うんですが、クラスメイトや先生等、かなり違うなぁと感じました。
オンラインでクラスの様子を一緒に見ているとひしひしと感じました。
- 夫婦揃って実家が遠く、マンパワーに日頃から限界を感じていた時の、コロナ禍。

直接孫の顔もなかなか見られない、成長を感じられない祖父母に対して不憫に感じます。

○サークル活動や児童センターの集まりがなくなり、子どもが同じ学年の子と関わる事がなかった。そのため、子どもが、同い年の子との関わり方や接し方が苦手なように感じる。子どもが寄ってくる事を嫌がる。親同士も知り合いがいなく、入園する前に知っている人がいない。

○家にいる時間が長くなると、子どもの欠点ばかり目について、注意ばかりして、お互いによくない。

○子どもは小学校に通っています。

緊急事態宣言中は学校も休み、図書館も休み、体を動かそうと市のグラウンドに行くの使用禁止。子どもは一体何をして過ごせばいいのでしょうか…怒りをおぼえました。

コロナ禍で学校は禁止事項ばかり。

例えば、大きな声禁止、子ども同士の接触は控えるなど… 子どもの心の健康が心配です。

夏は熱中症が心配でした。

文科省のガイドラインでは体育の活動中はマスクを外して良いはずですが、実際はマスクをしたままの活動のようです。真夏の体育は本当に心配でした。

10月に運動会があったのですが、リレーでも皆んなマスクをしていました。

【考察】

*都市部における実情

①ワンオペ育児が回答者中85%を超える中、孤独や不安を感じる（どちらかと言えば、という回答含む）人は50%未満だった。「変わらない」「楽しいと感じる」と答えた人が半数を超えることから、コロナ禍で生活様式や子育て環境が大きく変わる中、現状を受け入れ、工夫してむしろ楽しんでいこうとする、たくましい母親の姿も見られる。しかしながら、「孤独や不安を感じる原因」という問いに対して、「ひとり親、ワンオペ育児の負担が増加」と答えている人が一定数いることや、必要な支援として「親同士の仲間づくりや交流の場」を挙げている人が最も多いなど、都市部において母親の負担の増大による孤立、孤独の実態が浮き彫りになっている。

②緊急事態宣言期間中の育児については、80%の保護者が子どもと自宅で過ごしていた。やむを得ず仕事を休んで子どもと家にいたという人もいると思われるが、2度目の緊急事態宣言期間においては保育施設も利用できる環境にあったことから、不慮の災禍に対して何とか子育て家庭をサポートしていこうという行政や、子育て支援団体、企業の姿勢が伺える。

③特に母親が危惧するのが、感染症対策として行われている様々な制約が子ども達に悪い影響をあたえるのではないか、という事だった。

自由記述のところでも多くの保護者が記述しているが、学校や園の行事がなくなり、地域の行事もなくなり、人と人との交流も制限される中、人として必要な能力を獲得していくことが果たしてできるのか…といった心配が多く挙げられていた。

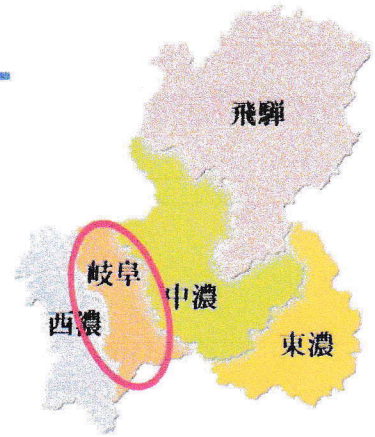
小さいうちから子ども達同士で遊ぶという機会があまりない事から、「子どもが寄ってきたら嫌がる」「子供の心の発達が心配」といった声も聞かれた。

岐阜圏域(岐阜市を除く)

羽島市、各務ヶ原市、山県市、瑞穂市、本巣市

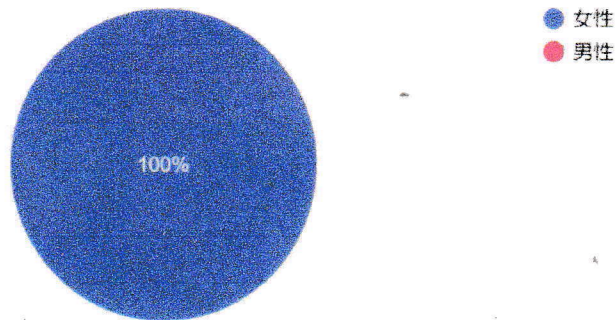
【羽島郡】 岐南町、笠松町

【本巣郡】 北方町



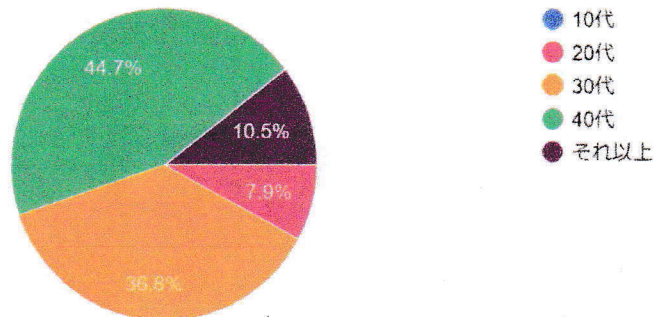
①あなた（お答えいただいている回答者）の性別を教えてください。

76件の回答



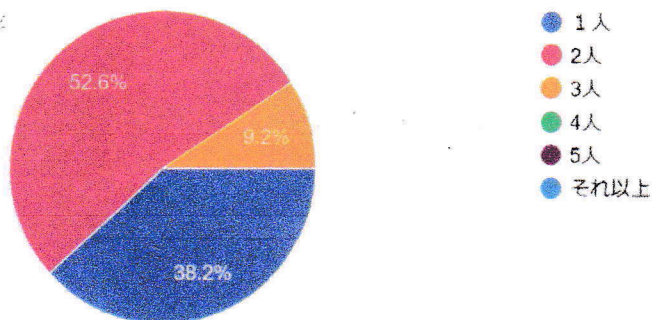
②あなたの年齢を教えてください。

76件の回答



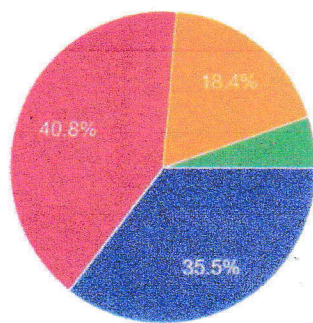
③同居しているお子さんの人数を教えてください。

76件の回答



④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？

76件の回答

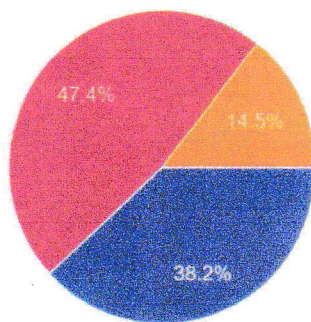


- 影響は全くない
- 影響はややある
- どちらでもない
- 影響はかなりある
- 影響は非常にある

「家計への影響が多少でもある」と答えた人
46.1%

⑤あなたは子育てにどれほど関与していると感じていますか？

76件の回答

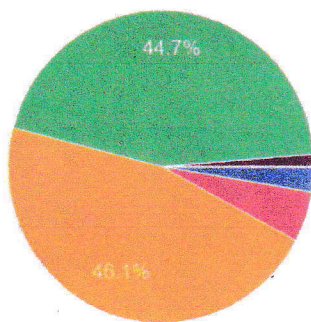


- ほとんど自分が子育てをしている
- どちらかといえば自分が主として子育てをしている
- 配偶者・同居者等とほぼ半分ずつ子育てをしている
- どちらかといえば、自分以外のかたが子育てをしている
- ほとんど子育てに関与していない

「主に自分が子育てしている」と答えた人
85.6%

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について教えてください。

76件の回答

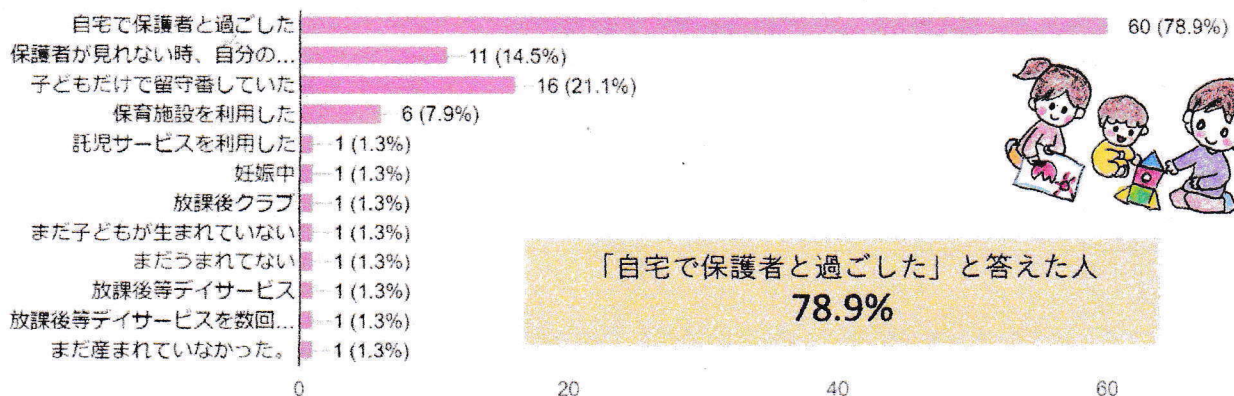


- 楽しいと感じる事が多くなった
- どちらかと言えば、楽しいと感じるようになった
- 変わらない
- どちらかと言えば、孤独や不安を感じるようになった
- 孤独や不安を感じる事が多くなった

「孤独や不安を感じる」と答えた人
46%

⑦緊急事態宣言期間中（2020年3～5月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

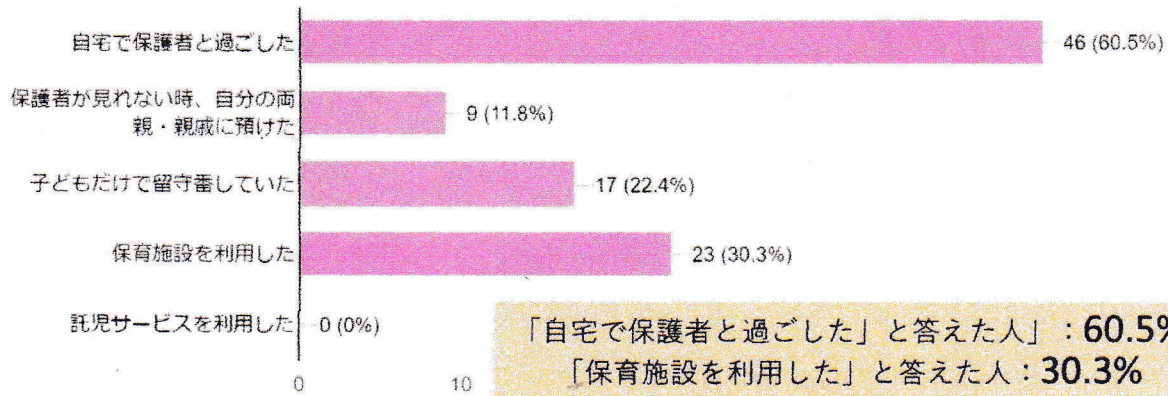
76件の回答



「自宅で保護者と過ごした」と答えた人
78.9%

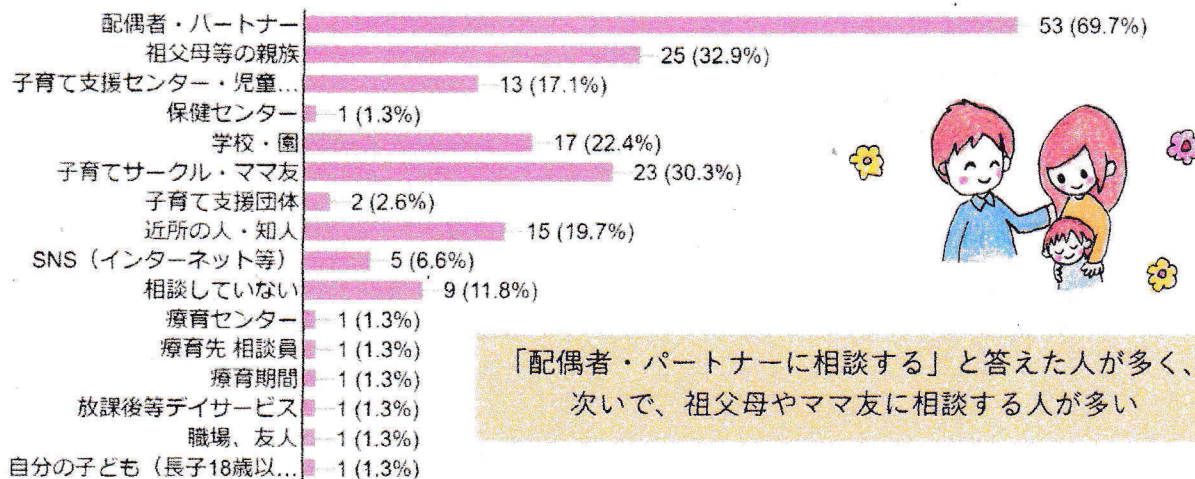
⑧緊急事態宣言期間中（2021年9月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

76件の回答



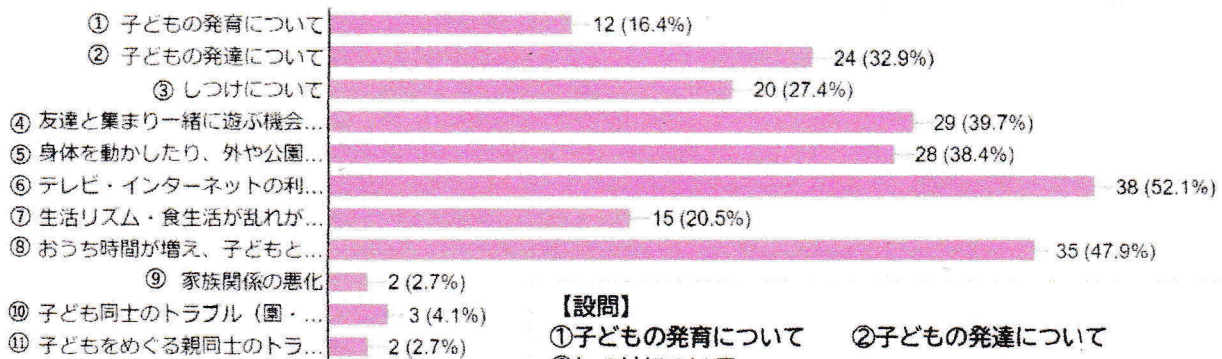
⑨コロナ禍において、子育てに関する相談は誰にされていますか。（複数回答可）

76件の回答



⑩相談したり、不安に感じた事がある方はどんな事ですか？（主なものを3つまで）

73件の回答



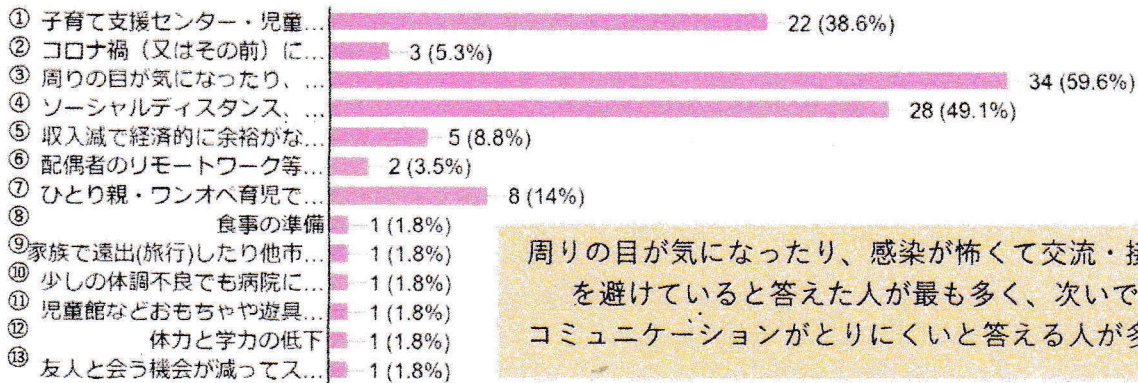
【設問】

- ①子どもの発育について ②子どもの発達について
③しつけについて
④友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減ったこと
⑤身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減ったこと
⑥テレビ・インターネットの利用が増えたこと
⑦生活リズム・食生活が乱れがちになったこと
⑧おうち時間が増え、子どもと一緒にいる事への負担やストレス
⑨家族関係の悪化
⑩子ども同士のトラブル（園・学校・地域社会）
⑪子どもをめぐる親同士のトラブル（園・学校・地域社会）

テレビ・インターネットの利用が増えたことや、おうち時間が増え、子どもと一緒にいる事への負担やストレスに悩みや不安を抱える人が多く見られる

⑪不安や孤独を感じた事がある方は、 どのような原因があると考えられますか？（主なものを3つまで）

57件の回答



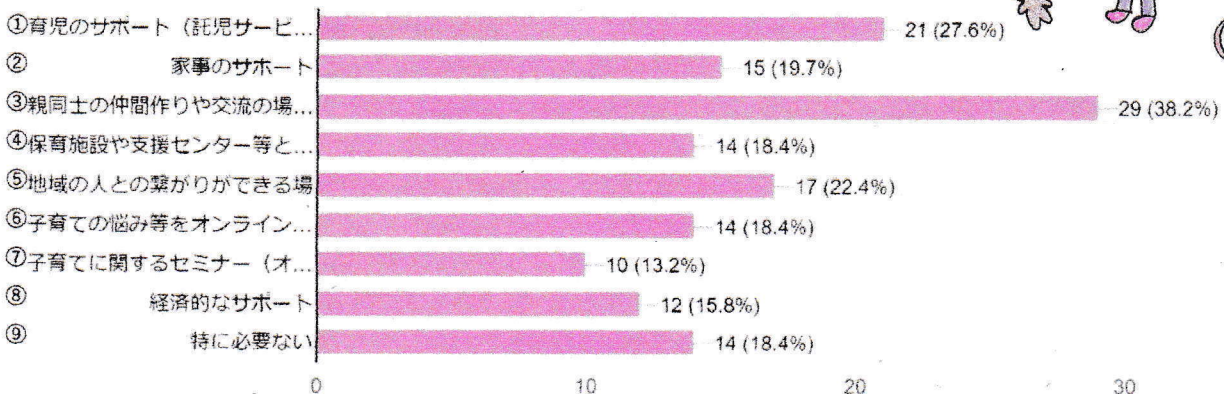
周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けていると答えた人が最も多く、次いでコミュニケーションがとりにくいと答える人が多い

【設問】

- ①子育て支援センター・児童館の人数制限により行きにくくなった
- ②コロナ禍（又はその前）に移住した為、地域との繋がりを作れず、近くに頼れる人がいない
- ③周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けている
- ④ソーシャルディスタンス、マスク生活でコミュニケーションがとりにくい
- ⑤収入減で経済的に余裕がなくなった
- ⑥配偶者のリモートワーク等による生活サイクルの変化
- ⑦ひとり親・ワンオペ育児で負担がさらに増加
- ⑧食事の準備
- ⑨家族で遠出（旅行）したり他市の実家や県外の親戚の家にいきづらい
- ⑩少しの体調不良でも病院にかかりにくい
- ⑪児童館などおもちゃや遊具もかなり制限されて、予約して遊びに行っても子どもが楽しめず、天候が悪い日が続くとか家にこもるしかないの、親もストレスを感じる
- ⑫体力と学力の低下
- ⑬友人と会う機会が減ってストレスが増えた

⑫必要としている支援・サービスを教えてください。（主なものを3つまで）

76件の回答



【設問】

- ①育児のサポート（託児サービス等）
- ②家事のサポート
- ③親同士の仲間作りや交流の場（オンライン含む）
- ④保育施設や支援センター等とのつながり（オンライン含む）
- ⑤地域の人との繋がりができる場
- ⑥子育ての悩みをオンラインで相談できる窓口
- ⑦子育てに関するセミナー（オンライン）
- ⑧経済的なサポート
- ⑨特に必要ない

親同士の仲間作りや交流の場を必要としている人が最も多く、次いで育児のサポートを必要とする人が多い。また、地域の人との繋がりができる場を求めている人も多く見られる

⑬コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でもいいのでお書き下さい。

【不安・困ったこと・辛かったこと】

子どもの成長・健康・安全のこと

- 子どもが自由に遊びづらくなった。
- 遠方へ出掛けづらい事はもちろん、学校行事の中止や縮小でかわいそう。友達と会ったり遊びに行ったりが全然できなくて不憫。
- 学校行事や部活動が減ることで、やりたいことが思うようにできない子どもたちのストレスが大きいことは心配。成長する機会を失っているのでは？という危機感もある。
- 子ども達のイベントが無くなったり、マスクで人の表情が伝わりにくかったり、子育ての不安より、子ども達の将来が不安。この2.3年で大事な事が奪われていくのが心苦しい。
- 学校が閉鎖的に感じる。
- 子どもの運動会や発表会やイベントの中止。両親が行事に参加できない。子どもの成長を祖父母にも見せられない悲しみがある。今しかできない学校生活や園生活の楽しみを見出せない。
- どこへ行こうにも、こどもをつれていっていいものなのか躊躇してしまう。
- 子どもが自分で食事を作れるようにしておくことは大切であると感じた。
- 感染者人数が増加傾向になる度に保育園の休園がある。
- 外に子どもをつれて出て行きにくい。
- 室内遊び場や水族館等の施設に行きづらく、休みの日は家に籠もりがちになる。
- まだマスクをつけられない年齢の子がいるので感染対策に限界がある。気が休まらないと感じている。

親のこと

- 小学校になってからママさん同士のつながりがうすくなった。話す場が欲しい。
- 何人かで集まって話すことがなくなった。子育て以外にも家族のこと趣味の事聞いてもらうだけでもスッキリしたのに今はそれも出来ない。のんびりゆっくり話せない。話しながら相談したいことを思い出すこともあるのにそれが今はできない。
- 外出の時子どもに「汚いから、コロナだから触らないで」「マスクちゃんとして」と言わないといけないのが小さなストレス。
- 感染が心配で友達とも2年くらい会えていない。
- 次々と新しい変異株が出てきて終わりが無い。
- 友達付き合いに気にすることが多く悩み。
- コロナ禍の引っ越しで近所やママ友がいなくて不安に感じる事があった。

【提案・要望】

- 子どもが難聴。マスク生活における情報保障やコミュニケーションについて不足、不便を感じる事がある。もっと質の良い透明マスクが普及されることを望む。
- 休園中に仕事が休めない時のサポートがほしい。

○子どもが室内でも遊べる場所が欲しい。

コロナ前までは支援センターが充実していたけど今は利用者おらずおもちゃも少なく行ってもすごく寂しい状態。もう少し開放してもらいたい。

○学校や公民館、アリーナ等施設の体育館で思い切り走らせられるような解放日があるといい。

【よかったこと】

○子どもは中学生と高校生なので、私を感じる子育ての負担感は、それほどない。

家族が一緒にいる時間が増え、学校行事や部活などが減り、ゆったりと過ごす心地よさが私にはよかった。

○いろんな施設、幼稚園など、やれる事を工夫してやってくださるようになって感謝している。中止するのは簡単だけれど、オンラインでも何でもしてもらえれば、子どもにも親にもありがたい。大人にとっては来年もあるけれど、子どもにとっては一生に一回の年なので。

【その他】

○コロナ禍になってから、公園が使えないように、駐車場に停めることのできないように、子どもが遊具に触れないようにするのに、すごく力を入れているのを感じました。

お金がかからないから楽なのだと思いますが、感染しにくくなる工夫をして公共の場こそ解放する方にお金を使って欲しかったです。

○同様に学校行事の禁止の内容も、とりあえず禁止が多く、そんなにお金かけたくないのか、工夫をするのが面倒なのか、責任を取るのが嫌なのかと思わざるを得ません。

まずは安全。その次経済。で、子どもは後回しだなあとの対策を見ても感じます。

仙台、名古屋、瑞穂しか子育てしていませんが、岐阜は（その3地域内では1番）子育て環境が良くないと感じます。

○小中高、と子どもがいます。

コロナ禍だから、と必要以上に子どもらの学校生活に制限があるように思います。

学校は「子どものためにご理解を」と、ことある毎に言いますが、そう言っておけば保護者も納得するだろう、大丈夫だろう、と私には聞こえます。

先生方は何回も経験があっても子どもの修学旅行、卒業旅行は1回しかありません。

そういった思い出は財産になります。

実際子どもらにも影響が出ており、すぐに諦めるようになってきてます。

本当に子どもらのためならば、どうしたら出来るか、を考えていただきたいです。

○子育ては変わらないですが、マスク生活の中、子どもたち同士の関わりが心配になります。

運動会など、学校行事もなく、経験だけはできるように学校側もがんばっては、くださっているけど、保護者や地域の人に見てもらったり、関わってもらうことが、なくなっていることは、これからの子どもたちの成長に、どのような影響が出るのかと、心配になります。給食も、黙食を守って、子どもちの方が、真面目にコロナに向かい合っている。校庭や公園でも、マスク。少しはマスクを外し遊びの中で学ぶには、どうしたらよいのかと思います。

○はじめに予想したよりも長引く中で、密を避ける為親戚が集まる機会がなくなり、家族ぐるみで集まって子ども同士を遊ばせたりする事も無くなってしまった。子ども同士関わる姿を見て時には仲立ちしたり、振る舞い方を教える良い機会のはずだができない。

コロナを気にせず楽しんでいる人もいると思うが、真面目な人ほど世の中の流れや風潮に逆らう事はできない。家は高齢者と同居しているので怖くてできない。

子どもが将来様々な人と良い関係を築き社会生活を送っていけるのか心配。

○コロナ禍になりさまざまな社会問題のニュースを見るようになりました。子どもは18歳になりましたが、自立していく過程の中で、責任ある行動を持ち成長していくのを見守っています。

○今までと変わった事は、コロナに対しての考え方や捉え方が人それぞれで、そこを基準にお付き合いの仕方が変わりました。

自分の価値観と合う人とししか関われなくなってきたのが現状です。

親の価値観に合わせて子ども同士も関わりが減ってきているのも心配です。

【考察】

*都市部周辺の地域

①岐阜市とほぼ同様な結果が見られた。ワンオペ育児が回答者中85%を超えた一方で、孤独や不安を感じる人は50%未満だった。

「変わらない」「楽しいと感じる」と答えた人が半数を超えることから、大変な状況の中、何とか楽しみを見つけて子どもの気持ちに寄り添っていこう、という母親の姿が見られる。

②都市部周辺地域という事で、子どもを連れて遊びに行ける公園やレジャー施設、ショッピングモールやイベントなどがたくさんあり、楽しく子育てできていた環境からコロナ禍により一変したという事もあり、多くの保護者が「ふれあう機会、交流する機会の激減」を孤独・不安の要因に挙げている。

それは、「必要とする支援」という項目でも、「親同士の仲間作りや交流の場」という答えが多く見られる事からも伺える。

③保護者の多くが心配するのは、子どものメンタルと発育である。

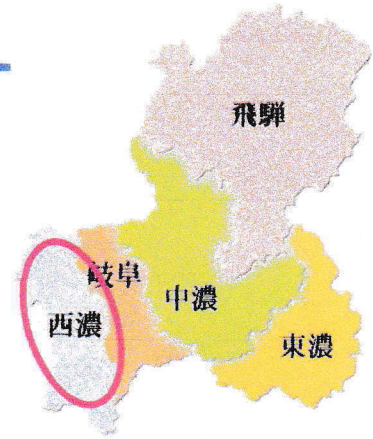
学校行事、園行事の中止や、ソーシャルディスタンス、マスク着用により、子ども達の伸び伸びとした、澆刺とした学校生活、園生活が損なわれているのではないかと、という心配である。

参観日の中止が相次ぐ中で、親が子ども達の学校や園での様子を見る機会が無くなっていく事も心配が募る要因になっていると思われる。

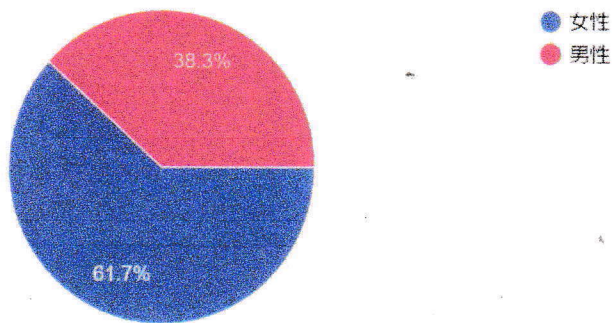
西濃圏域

大垣市、海津市

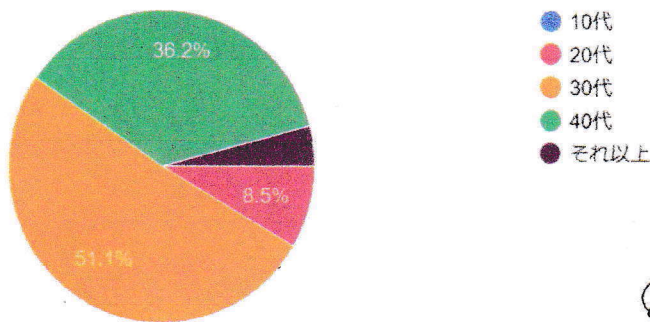
- 【養老郡】 養老町
- 【不破郡】 関ヶ原町、垂井町
- 【安八郡】 神戸町、輪之内町、安八町
- 【揖斐郡】 揖斐川町、大野町、池田町



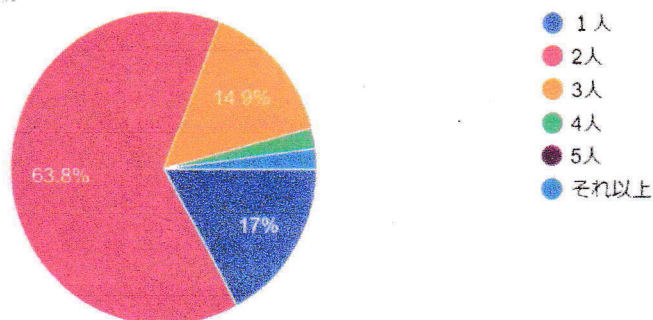
①あなた（お答えいただいている回答者）の性別を教えてください。
47件の回答



②あなたの年齢を教えてください。
47件の回答

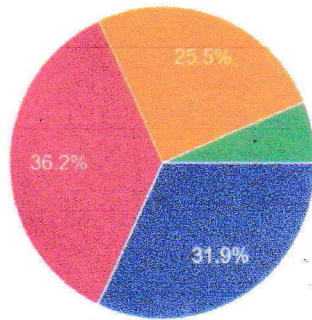


③同居しているお子さんの人数を教えてください。
47件の回答



④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？

47件の回答

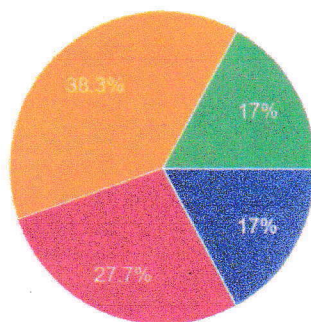


- 影響は全くない
- 影響はややある
- どちらでもない
- 影響はかなりある
- 影響は非常にある

「家計への影響が多少でもある」と答えた人
42.6%

⑤あなたは子育てにどれほど関与していると感じていますか？

47件の回答

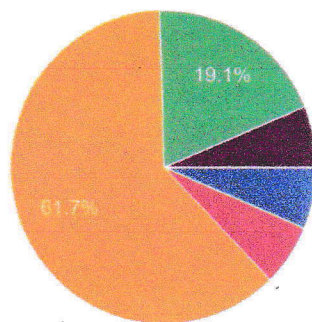


- ほとんど自分が子育てをしている
- どちらかといえば自分が主として子育てをしている
- 配偶者・同居者等とほぼ半分ずつ子育てをしている
- どちらかといえば、自分以外のかたが子育てをしている
- ほとんど子育てに関与していない

配偶者とほぼ半分ずつ子育てしていると
答えた人：**38.3%**

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について教えてください。

47件の回答

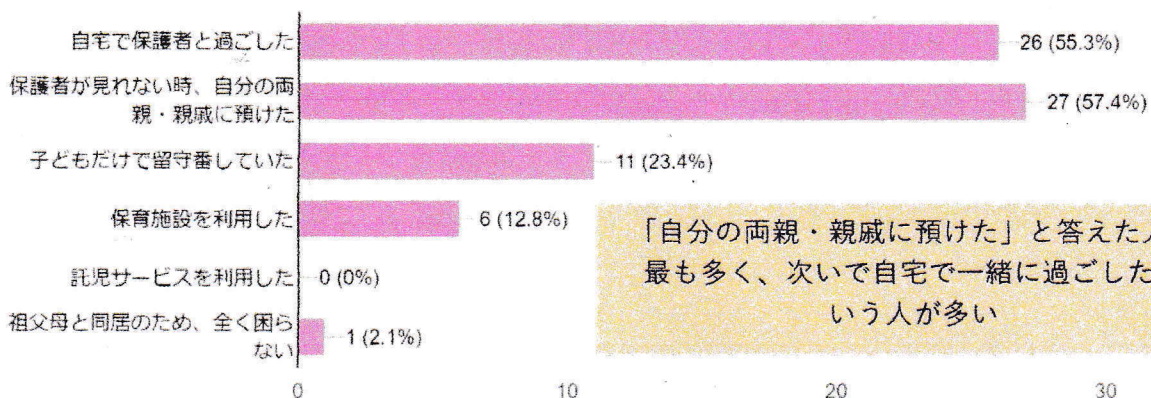


- 楽しいと感じる事が多くなった
- どちらかと言えば、楽しいと感じるようになった
- 変わらない
- どちらかと言えば、孤独や不安を感じるようになった
- 孤独や不安を感じる事が多くなった

「孤独や不安を感じる」と答えた人
25.1%

⑦緊急事態宣言期間中（2020年3～5月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

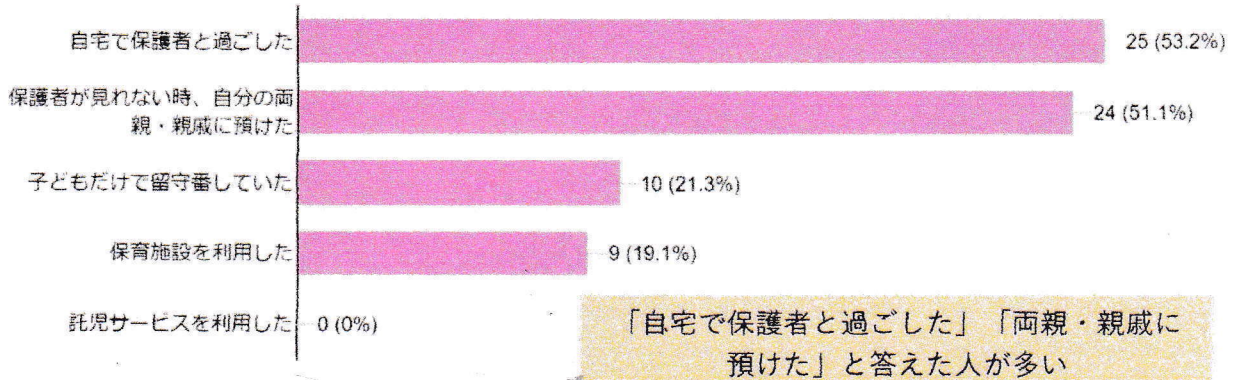
47件の回答



「自分の両親・親戚に預けた」と答えた人が
最も多く、次いで自宅で一緒に過ごしたと
いう人が多い

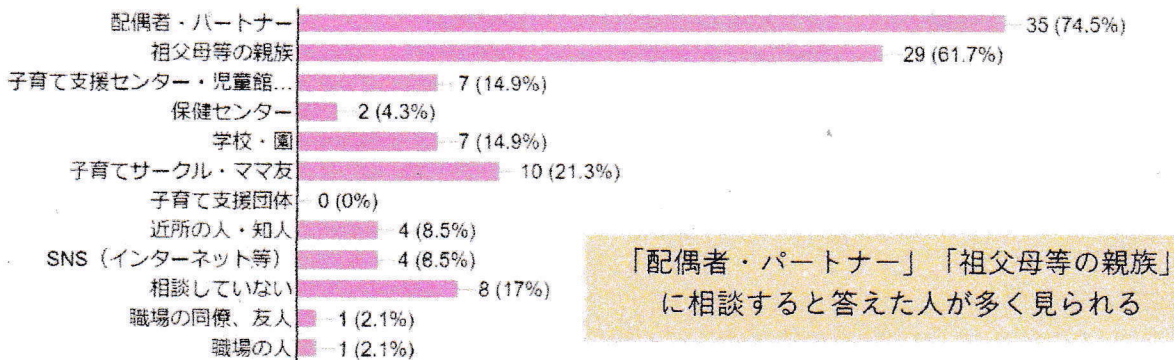
⑧緊急事態宣言期間中（2021年9月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

47件の回答



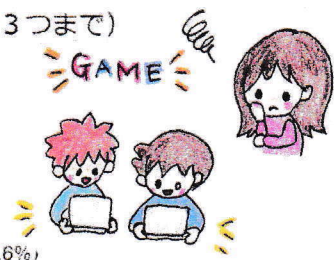
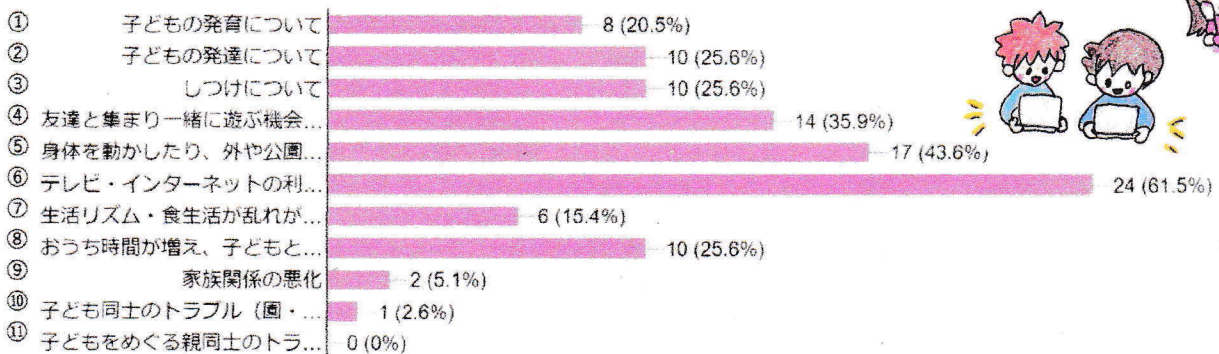
⑨コロナ禍において、子育てに関する相談は誰にされていますか。（複数回答可）

47件の回答



⑩相談したり、不安に感じた事がある方はどんな事ですか？（主なものを3つまで）

39件の回答

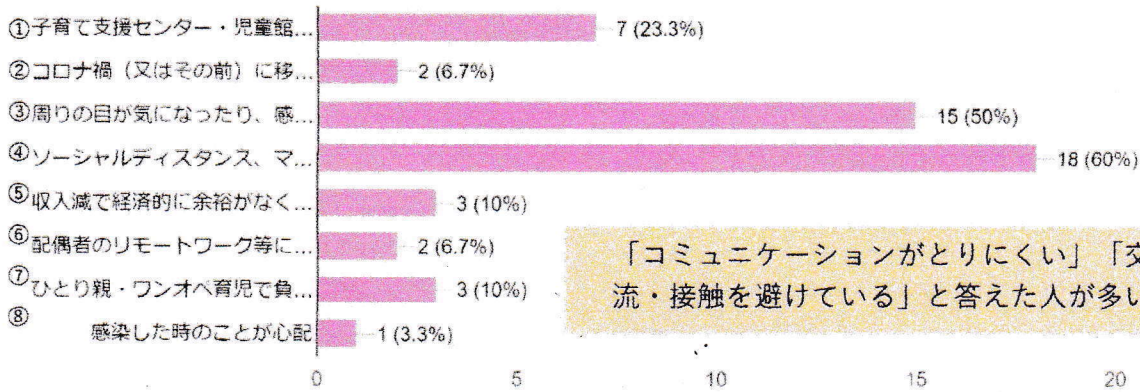


「テレビ・インターネットの利用が増えた事や、体を動かしたり外や公園で遊ぶ機会、友達と一緒に遊ぶ機会が減った事を不安に感じる人が多く見られる

【設問】

- ①子どもの発育について
- ②子どもの発達について
- ③しつけについて
- ④友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減ったこと
- ⑤身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減ったこと
- ⑥テレビ・インターネットの利用が増えたこと
- ⑦生活リズム・食生活が乱れがちになったこと
- ⑧おうち時間が笛、子どもと一緒にいる事への負担やストレス
- ⑨家族関係の悪化
- ⑩子ども同士のトラブル（園・学校・地域社会）
- ⑪子どもをめぐる親同士のトラブル（園・学校・地域社会）

⑪不安や孤独を感じた事がある方は、 どのような原因があると考えられますか？（主なものを3つまで）
30件の回答

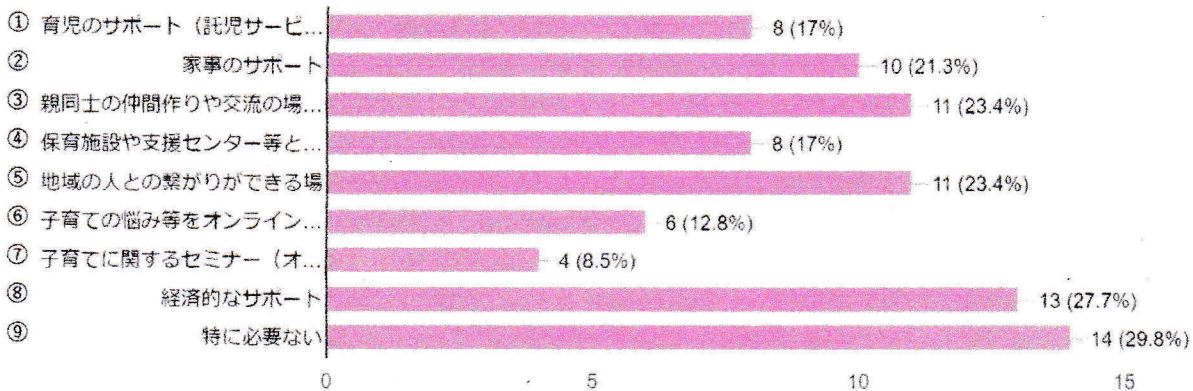


「コミュニケーションがとりにくい」「交流・接触を避けている」と答えた人が多い

【設問】

- ①子育て支援センター・児童館の人数制限により行きにくくなった
- ②コロナ禍（又はその前）に移住した為、地域との繋がりを作れず、近くに頼れる人がいない
- ③周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けている
- ④ソーシャルディスタンス、マスク生活でコミュニケーションがとりにくい
- ⑤収入減で経済的に余裕がなくなった
- ⑥配偶者のリモートワーク等による生活サイクルの変化
- ⑦ひとり親・ワンオペ育児で負担がさらに増加
- ⑧感染した時のことが心配

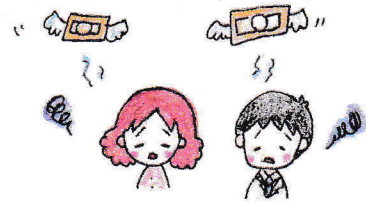
⑫必要としている支援・サービスを教えてください。（主なものを3つまで）
47件の回答



【設問】

- ①育児のサポート（託児サービス等）
- ②家事のサポート
- ③親同士の仲間作りや交流の場（オンライン含む）
- ④保育施設や支援センター等とのつながり（オンライン含む）
- ⑤地域の人との繋がりができる場
- ⑥子育ての悩みをオンラインで相談できる窓口
- ⑦子育てに関するセミナー（オンライン）
- ⑧経済的なサポート
- ⑨特に必要ない

「特に必要ない」と答えた人が最も多い次いで、経済的なサポート、親同士の交流の場作り、地域の人とつながりができる場作りを必要としている人が多い



⑬コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でもいいのでお書き下さい。

【不安・困ったこと・辛かったこと】

子どもの成長・健康・安全のこと

- 子どもの園での行事や支援センターでのイベントの中止が多く、子どもや親の思い出作りをする機会が以前より減っていて残念。
- コロナで子ども達に制限をかけなければいけないことばかりなので、早く終息してほしい。年代相応の遊びをさせてあげられないのが、後々大きく影響しそうで怖い。
- 精神面、発達、学力、タブレット生活が今後の影響が心配なので、その環境改善。
- 子どもが成長し、友達と放課後遊ぶようになった。遊ぶことは子供の心の健康のためにも大事なことだが、コロナ禍のため感染を心配しながら送り出すのがストレス。
- 感染は怖く人が集まる所には行けないという気持ちと、子どもを楽しませる為にその様な場所に連れて行きたい気持ち両方あるが、実際は感染予防の為に何もできずにいる。
- 子ども達ばかり制限も多く、学校行きしぶりの子も増えている。長年のマスク生活で表情も見えづらく、成長やコミュニケーションにも影響が出ている。子ども達の発達や成長の遅れも今後どんどん見えてくると思う。

親のこと

- 子どもの不登校、就職できないなどで家族関係が悪化している。
どこにも相談できないので、一人親で悩みが解消されない。相談窓口ではただ話を聞くだけで、具体的な支援など教えてもらえない。

施設・制度のこと

- オンライン化が進み、生活がとても便利になる一方で、直接顔を見てコミュニケーションをとる機会が少なくなった。
- 緊急事態宣言が出ると町の支援センターが休みになってしまう。休みにならない市町村もあるが、市内住民しか受け入れてもらえないため行き場所がなくなってしまう。
- コロナ禍で『町内の人のみ』との制限が厳しくなり、引っ越しの関係で所属が曖昧になった際に行きたい支援センターや保健センターに断られるなどして困った。

【提案・要望】

- 祖父母の支援を受けにくく、夫婦2人で全てを行うのはかなり大変な為、育児休業を取らざるを得なかった。そこでの収入減も厳しく、育児休業をしている家庭を支援する制度が欲しい。
- 緊急事態宣言中も子育て支援センターは閉めないで欲しい。感染対策をした上で、園の行事や児童館のイベントなどもう少し開催をしてもらえるとありがたい。
- コロナの学級閉鎖・休校の基準が厳しい。インフルエンザと同じ位置付けでもいいのではないか。
感染者や症状のある人は欠席・自粛でいいと思うが、学級閉鎖にする基準や、濃厚接触者の待機期間等も実情に合っていないのではないかと思う。
- 子どもがおもいきり身体を動かしたり、太陽に当たったり、大声を出したりして、発散出来る場が必要。

【その他】

○今までであれば普通にできたことが、難しくなってるので、その中でも子供・家族との思い出作りをしていきたいと思っている。

【考察】

*平野部と山間部の両方を併せ持つ地域。大垣市は人口約16万人で、上場企業も複数存在している。

①回答者の内訳について、この圏域では男性が約4割に上り、他圏域と比べると少し傾向が異なっている。

「配偶者・同居者とほぼ半分ずつ子育てしている」と答えた人が約4割いる事からも、子育てに積極的に関わっている男性（いわゆるイクメン）が本アンケートに回答してくれたのではないかと予想する。

また、「孤独や不安を感じる」と答えた人は3割未満、必要としての支援については「特に必要ない」と答えた人が最も多いという事から、配偶者のサポートがどれだけ得られているか、というのが、コロナ禍の子育て支援における孤独解消の大きな要素であると考えられる。

②保護者の心配として、父親目線からの意見も多く含まれていると思われるが、スマホやタブレットの活用機会が増えた事が多く挙げられていた。

オンラインによるコミュニケーションは、便利な一方で、顔を合わせ、声を交わして共に学習活動を行う従来の教育機会が得られないという事につながり、それが子どもの心身に大きな影響を与えるのではないかと心配されている

また、マスクや画面越しだと、表情が読み取りにくく、喜んでいる雰囲気や落ち込んでいる様子なども汲み取りにくい、押し量りにくい、というデメリットがあり、幼少期にそのような経験を積まないでいる事の影響を心配する声が多く挙げられている。

③回答者の中には、「子どもの不登校、就職できないなどで家族関係が悪化している」

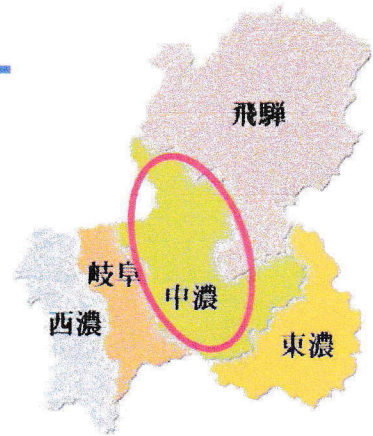
「祖父母の支援を受けにくく、夫婦二人で全てを行うのはかなり大変なため、育児休業を取らざるを得なかった。そこでの収入減も厳しかった」と答えた人がおり、そのような何らかのサポートが必要な深刻なケースに対しては、行政や子育て支援機関が適切に相談を受けられるような体制作りが必要だと思われる（もしかしたら、対応済の案件かもしれないが...）

中濃圏域

関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市

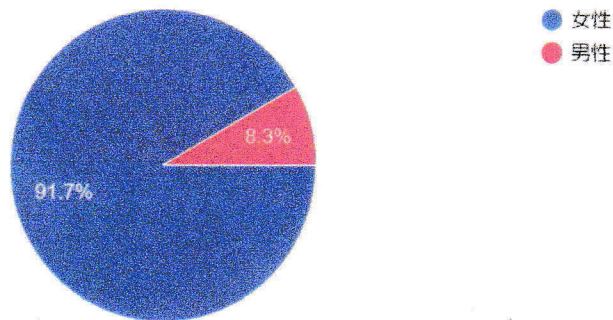
【加茂郡】 坂祝町、富加町、川辺町、七宗町
八百津町、白川町、東白川町

【可児郡】 御嵩町



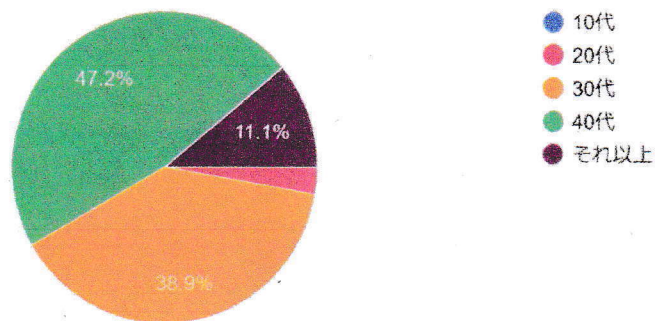
①あなた（お答えいただいている回答者）の性別を教えてください。

36件の回答



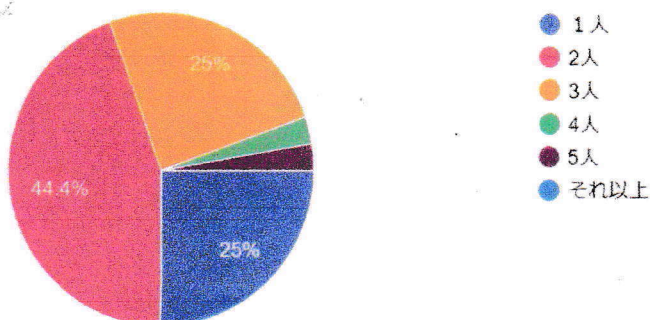
②あなたの年齢を教えてください。

36件の回答



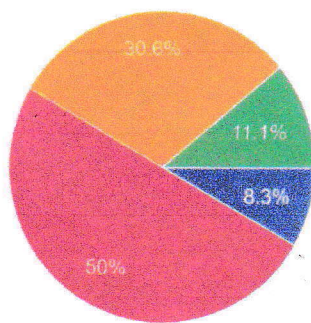
③同居しているお子さんの人数を教えてください。

36件の回答



④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？

36件の回答

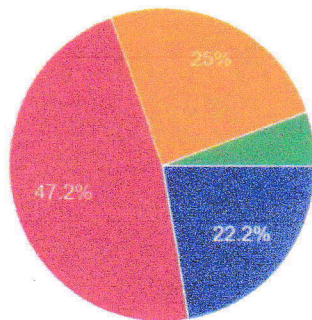


- 影響は全くない
- 影響はややある
- どちらでもない
- 影響はかなりある
- 影響は非常にある

「家計への影響が多少でもある」と答えた人
61.1%

⑤あなたは子育てにどれほど関与していると感じていますか？

36件の回答

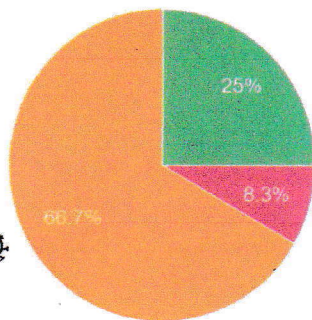


- ほとんど自分が子育てをしている
- どちらかといえば自分が主として子育てをしている
- 配偶者・同居者等とほぼ半分ずつ子育てをしている
- どちらかといえば、自分以外のかたが子育てをしている
- ほとんど子育てに関与していない

「自分が主に子育てをしている」と答えた人
69.4%

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について教えてください。

36件の回答



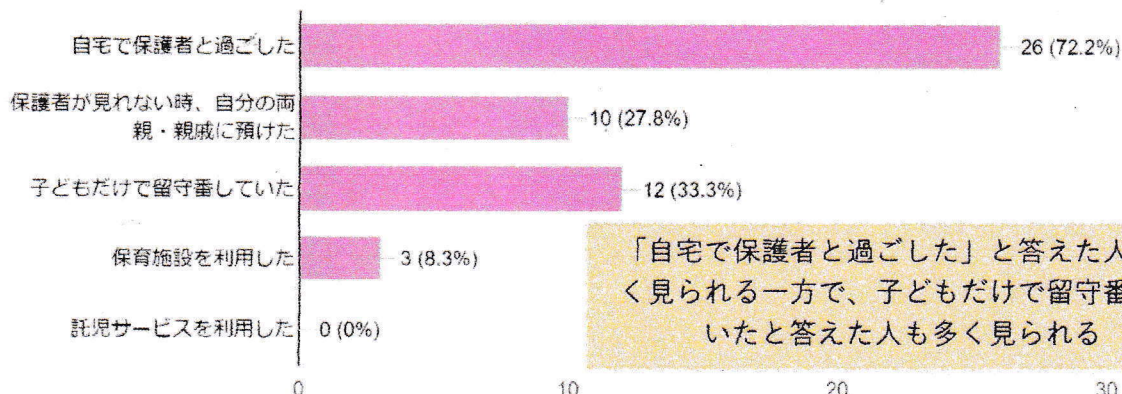
- 楽しいと感じる事が多くなった
- どちらかと言えば、楽しいと感じるようになった
- 変わらない
- どちらかと言えば、孤独や不安に感じるようになった
- 孤独や不安に感じる事が多くなった

「変わらない」と答えた人
68.7%



⑦緊急事態宣言期間中（2020年3～5月）お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

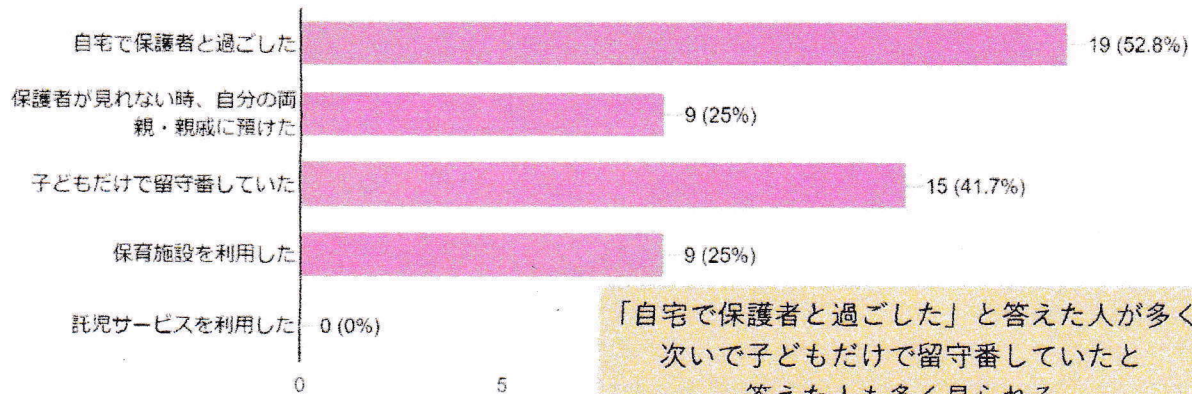
36件の回答



「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が多く見られる一方で、子どもだけで留守番していたと答えた人も多く見られる

⑧緊急事態宣言期間中（2021年9月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

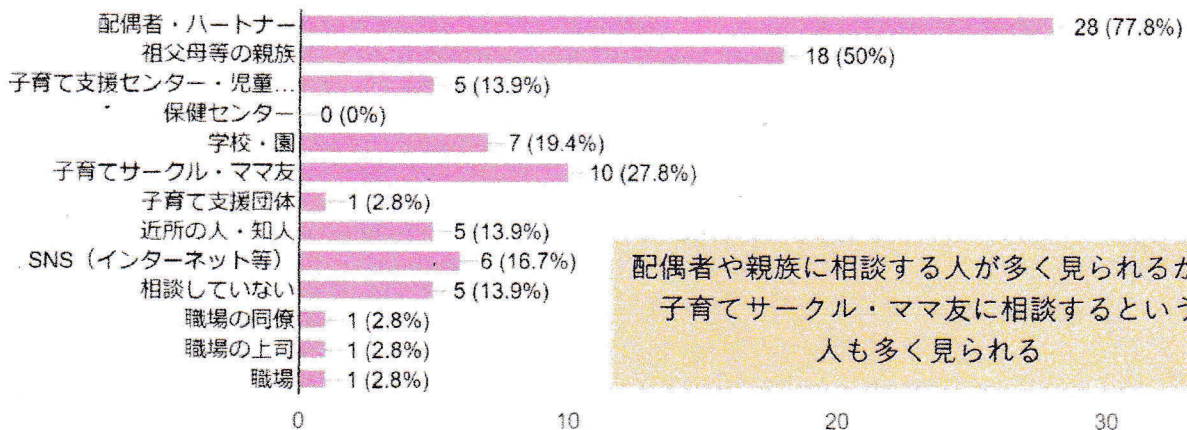
36件の回答



「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が多く、次いで子どもだけで留守番していたと答えた人も多く見られる

⑨コロナ禍において、子育てに関する相談は誰にされていますか。（複数回答可）

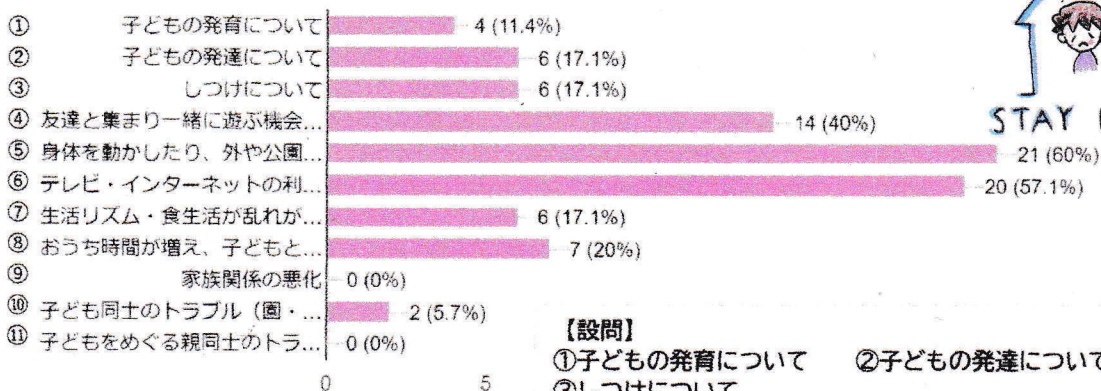
36件の回答



配偶者や親族に相談する人が多く見られるが、子育てサークル・ママ友に相談するという人も多く見られる

⑩相談したり、不安に感じた事がある方はどんな事ですか？（主なものを3つまで）

35件の回答

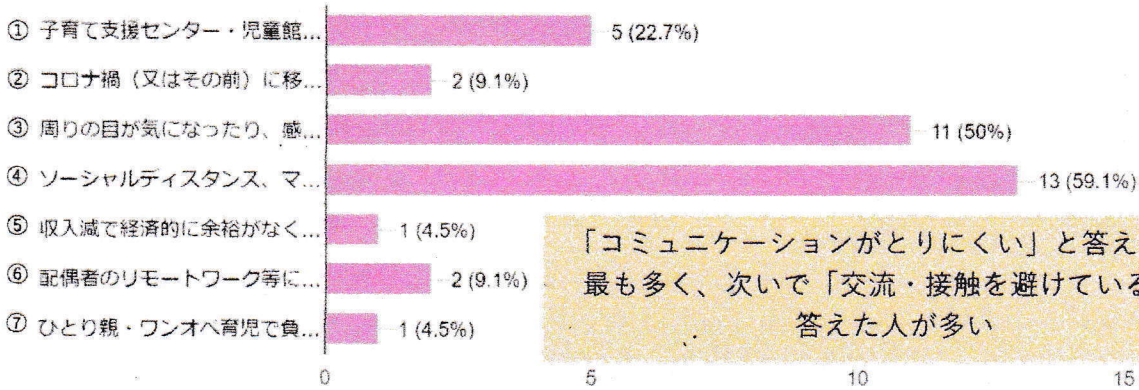


身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減った事が最も多く、次いでテレビ・インターネットの利用が増えた事、友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減った事が多い。

- 【設問】
- ①子どもの発育について
 - ②子どもの発達について
 - ③しつけについて
 - ④友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減ったこと
 - ⑤身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減ったこと
 - ⑥テレビ・インターネットの利用が増えたこと
 - ⑦生活リズム・食生活が乱れがちになったこと
 - ⑧おうち時間が増え、子どもと一緒にいる事への負担やストレス
 - ⑨家族関係の悪化
 - ⑩子ども同士のトラブル（園・学校・地域社会）
 - ⑪子どもをめぐる親同士のトラブル（園・学校・地域社会）

⑪不安や孤独を感じた事がある方は、どういう原因があると考えられますか？（主なものを3つまで）

22件の回答



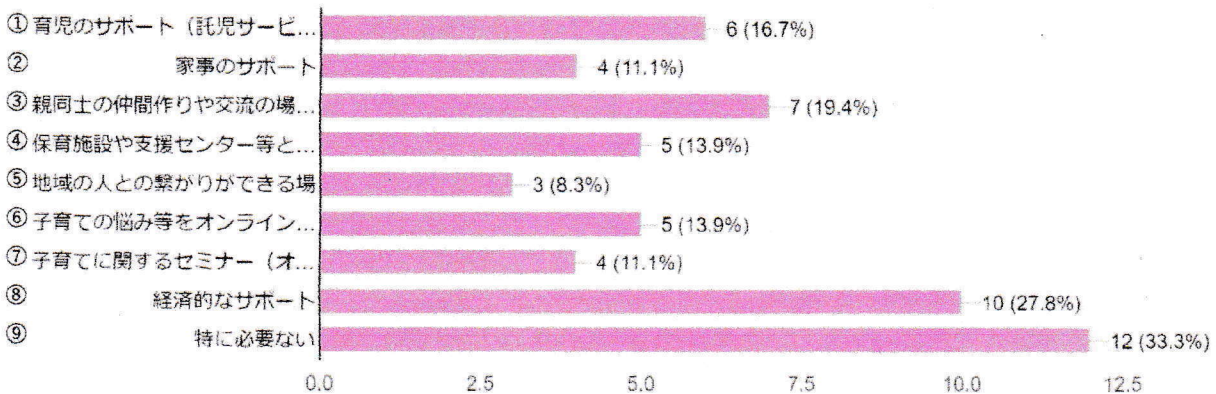
「コミュニケーションがとりにくい」と答えた人が最も多く、次いで「交流・接触を避けている」と答えた人が多い

【設問】

- ①子育て支援センター・児童館の人数制限により行きにくくなった
- ②コロナ禍（又はその前）に移住した為、地域との繋がりを作れず、近くに頼れる人がいない
- ③周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けている
- ④ソーシャルディスタンス、マスク生活でコミュニケーションがとりにくい
- ⑤収入減で経済的に余裕がなくなった
- ⑥配偶者のリモートワーク等による生活サイクルの変化
- ⑦ひとり親・ワンオペ育児で負担がさらに増加

⑫必要としている支援・サービスを教えてください。（主なものを3つまで）

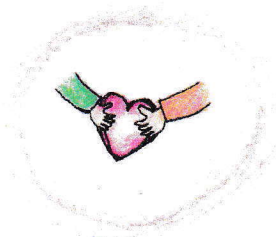
36件の回答



【設問】

- ①育児のサポート（託児サービス等）
- ②家事のサポート
- ③親同士の仲間作りや交流の場（オンライン含む）
- ④保育施設や支援センター等とのつながり（オンライン含む）
- ⑤地域の人との繋がりができる場
- ⑥子育ての悩みをオンラインで相談できる窓口
- ⑦子育てに関するセミナー（オンライン）
- ⑧経済的なサポート
- ⑨特に必要ない

「特に必要ない」と答えた人が最も多く、次いで「経済的なサポート」を必要とする人が多く見られる



⑬コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でもいいのでお書き下さい。

【不安・困ったこと・辛かったこと】

子どもの成長・健康・安全のこと

- こどもが身体を思い切り動かして遊ぶ機会が減り、発達に影響しないか心配。反対にゲームやYouTube、テレビを見る時間が以前より増えていることも心配。
- 過度な消毒、黙食など仕方ないが、これからの子どもの育ちにどんな影響がでてくるか心配。
- 園や学校の行事などの参観に地域差がある。
- ゲームを解禁したためか、子どもがゲーム中心の考え方をしている傾向がある。
- さまざまな場所が閉鎖されたり、行動が制限されるなかで、子どもたちのストレスの発散が上手くできない。
- 子どもたちがさまざまな規制を強いられながら学校生活等を送っていることが不憫。将来、コミュニケーション能力や対人関係に影響が出てきそうで心配。
- 英語イベントなどに子どもと参加したくても、そもそもあまり開かれていないし、怖くて参加できない。家の中に引きこもりがちで、ちゃんと社交性が養われるのか不安。

親のこと

- コロナによって、以前のように自由に外出ができないので、早く前のようにゆっくり外出したい。
- 妊娠中にコロナが蔓延し始めたので、母親学級も中止になったり交流会も中止になったりしてママ友が作れない状況。そのまま出産して1年半以上経ったけれど、コロナ状況が良くならないのでごくわずかなママ友ともあまり交流できず、寂しい。一緒にカフェに行ったりしたいができない。息抜きで子供を預けて美術館などに遊びに行きたいと思っても、コロナが怖くて人にも預けられないし、人混みにも行けない。

施設・制度のこと

- 教育機関や保育機関のコロナの対応が医療機関と違うことがある。

【提案・要望】

- 働きたくても働けない、経済的なサポート（補助金）をお願いしたい。
- オンライン授業を全ての子どもさんが普通に受けられる環境になることを希望する。
- 子育てがもっともっと楽しくなるような工夫をいろいろ知りたい。

【よかったこと】

- 大人はコロナ前の生活を恋しいと思いますが、子ども達は前向きで力強い。子ども達を信じたい。
- 変わらず外で自由に遊べるので不便だとか感じていない。自然がたくさんあって良かった。

【その他】

- まだまだ見通しが立たないので、子どもと一緒に、コロナ禍を乗り越えていこうと思う。

【考察】

*平野部と山間地域を併せ持つ地域。平野部では田園が広がっており、山間部では林業が盛んである。

①この圏域では、「コロナ禍で家計への影響が少しでもある」と答えた人が60%を超えており、必要としている支援という問いに対しての答えも「経済的な支援」と答えた人が多く見られる。

②「必要としている支援」の問いに対しては、「親同士の仲間作りや交流の場」と答えた人や、「育児のサポート（託児サービス）」と答えている人も多く見られる事から、「特に必要ない」と現在の公的支援に満足している人もいる一方で、よりニーズに応えられるきめ細やかな支援が求められる。

③自由記述の所で「妊娠中にコロナ禍になったので...」と答えた方がいて、コロナ禍の中で妊娠、出産を迎えた母親の悲痛な現状が伝わってきた。

母親学級、交流会、赤ちゃん教室の中止により、同じ月齢の子どもを持つ母親と交流したり、ママ友を作る事ができないという状況は、想像以上に問題であると感じる。

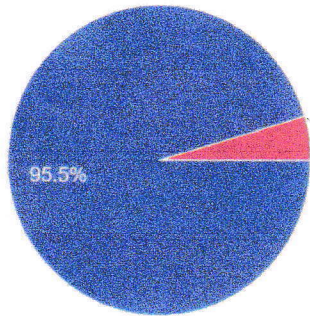
夜泣きの事、おっぱいの事、予防接種の事、離乳食の事、お出かけスポットの事など、同じ月齢の子を持つ母親同士が、ワイワイ話したり、共感したり、「自分の場合は...」とアドバイスしたり、悩みやグチを吐き出したり...という機会が失われているのは、初めての子育に奮闘している母親にとって、どれだけ孤独で不安かと思う。

他の圏域でもそのような声がたくさん上がってきているので、何とか対策ができないものかと思う。

東濃圏域

多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

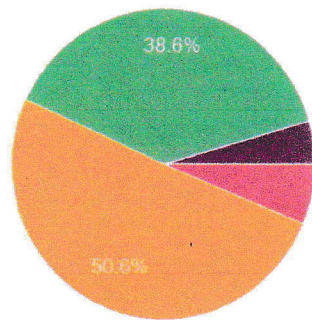
①あなた（お答えいただいている回答者）の性別を教えてください。
176件の回答



● 女性
● 男性

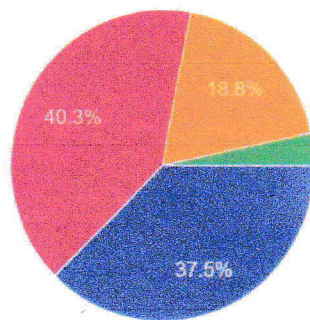


②あなたの年齢を教えてください。
176件の回答



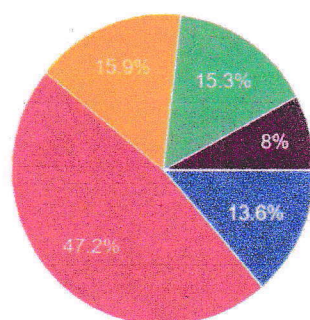
● 10代
● 20代
● 30代
● 40代
● それ以上

③同居しているお子さんの人数を教えてください。
176件の回答



● 1人
● 2人
● 3人
● 4人
● 5人
● それ以上

④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？
176件の回答

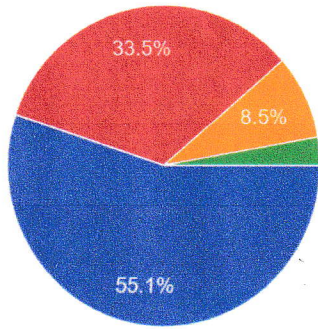


● 影響は全くない
● 影響はややある
● どちらでもない
● 影響はかなりある
● 影響は非常にある

「家計への影響が多少でもある」と答えた人
70.5%

⑤あなたは子育てにどれほど関与していると感じていますか？

176件の回答

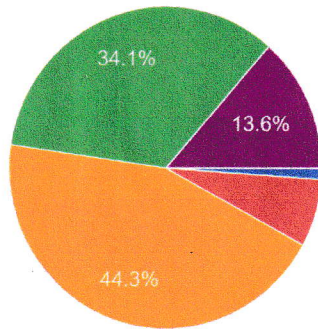


- ほとんど自分が子育てをしている
- どちらかといえば自分が主として子育てをしている
- 配偶者・同居者等とほぼ半分ずつ子育てをしている
- どちらかといえば、自分以外のかたが子育てをしている
- ほとんど子育てに関与していない

「主に自分が子育てしている」と答えた人
88.6%

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について教えてください。

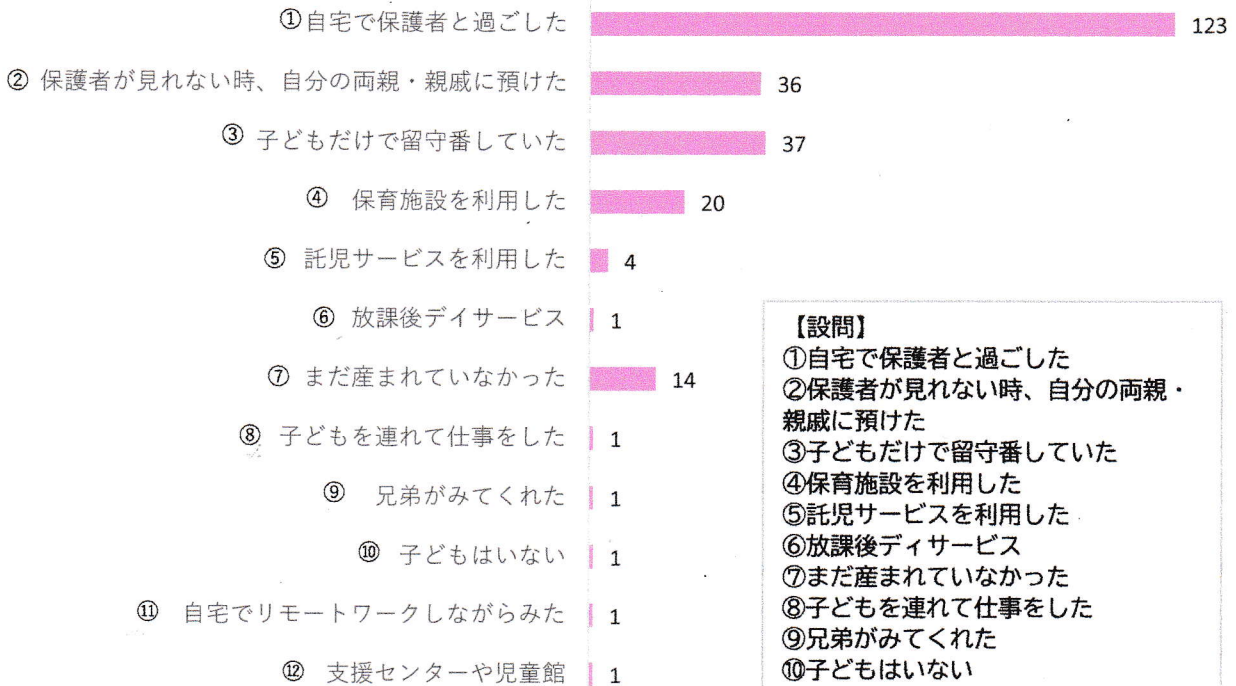
176件の回答



- 楽しいと感じる事が多くなった
- どちらかと言えば、楽しいと感じるようになった
- 変わらない
- どちらかと言えば、孤独や不安を感じるようになった
- 孤独や不安を感じる事が多くなった

「孤独や不安を感じる」と答えた人
47.7%

⑦緊急事態宣言期間中(2020年3~5月)、お子さまはどのように過ごしていましたか？(複数回答可)



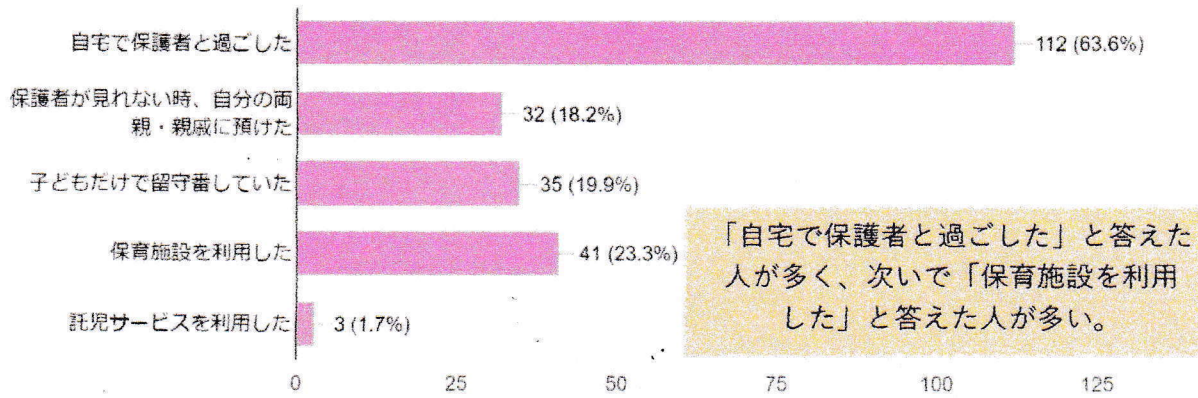
【設問】

- ①自宅で保護者と過ごした
- ②保護者が見れない時、自分の両親・親戚に預けた
- ③子どもだけで留守番していた
- ④保育施設を利用した
- ⑤託児サービスを利用した
- ⑥放課後デイサービス
- ⑦まだ産まれていなかった
- ⑧子どもを連れて仕事をした
- ⑨兄弟がみてくれた
- ⑩子どもはいない
- ⑪自宅でリモートワークしながらみた
- ⑫支援センターや児童館

「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が
多く見られる

⑧緊急事態宣言期間中（2021年9月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

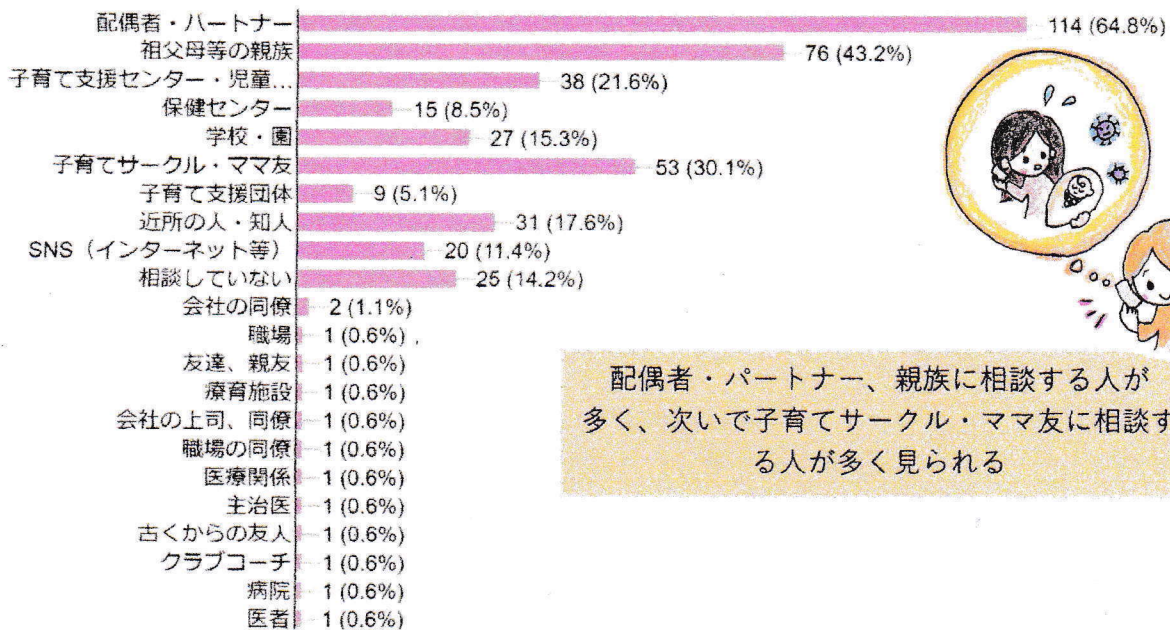
176件の回答



「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が多く、次いで「保育施設を利用した」と答えた人が多い。

⑨コロナ禍において、子育てに関する相談は誰にされていますか。（複数回答可）

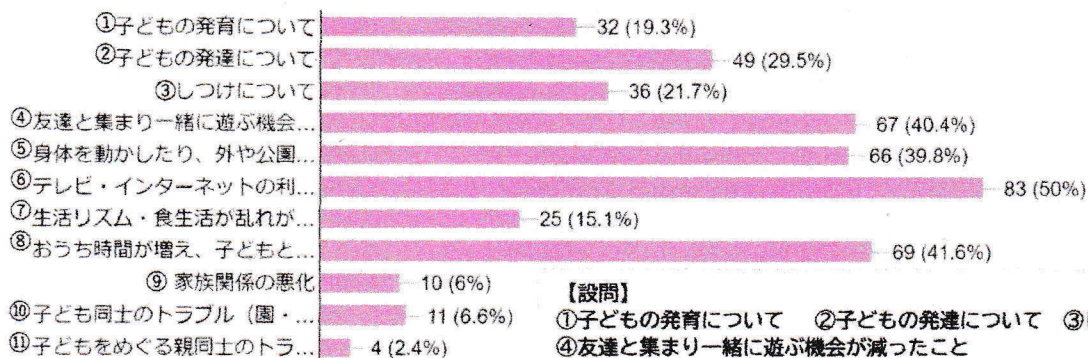
176件の回答



配偶者・パートナー、親族に相談する人が多く、次いで子育てサークル・ママ友に相談する人が多く見られる

⑩相談したり、不安に感じた事がある方はどんな事ですか？（主なものを3つまで）

166件の回答



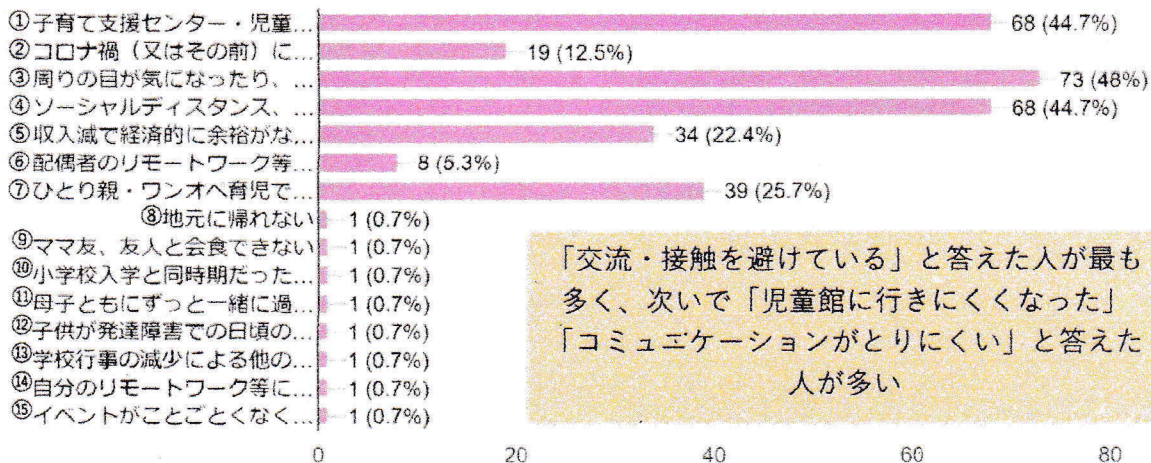
【設問】

- ①子どもの発育について
- ②子どもの発達について
- ③しつけについて
- ④友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減ったこと
- ⑤身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減ったこと
- ⑥テレビ・インターネットの利用が増えたこと
- ⑦生活リズム・食生活が乱れがちになったこと
- ⑧おうち時間が長くなり、子どもと一緒にいる事への負担やストレス
- ⑨家族関係の悪化
- ⑩子ども同士のトラブル（園・学校・地域社会）
- ⑪子どもをめぐる親同士のトラブル（園・学校・地域社会）

テレビ・インターネットの利用が増えた事が最も多く、次いでおうち時間が長くなり、子どもと一緒にいる事への負担やストレスと答えた人が多い

⑪不安や孤独を感じた事がある方は、 どのような原因があると考えられますか？（主なものを3つまで）

152件の回答



「交流・接触を避けている」と答えた人が最も多く、次いで「児童館に行きにくくなった」「コミュニケーションがとりにくい」と答えた人が多い

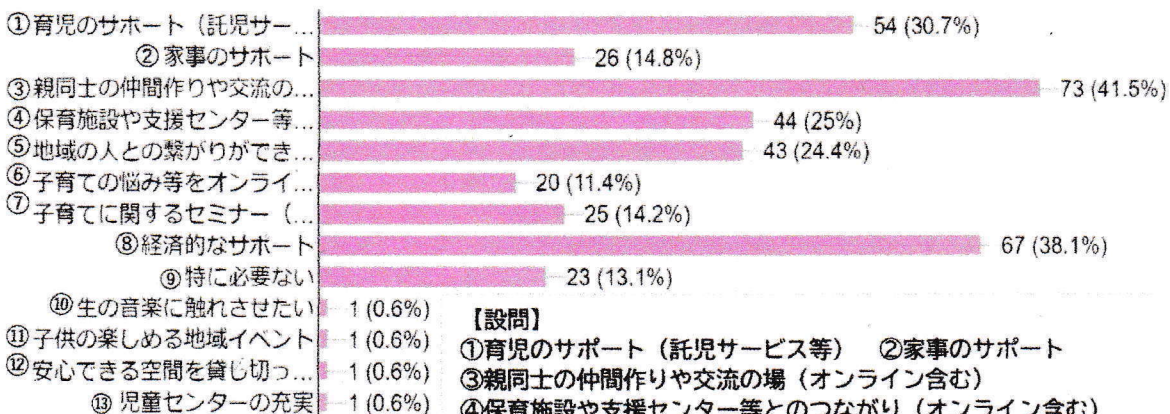
【設問】

- ①子育て支援センター・児童館の人数制限により行きにくくなった
- ②コロナ禍（又はその前）に移住した為、地域との繋がりを作れず、近くに頼れる人がいない
- ③周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けている
- ④ソーシャルディスタンス、マスク生活でコミュニケーションがとりにくい
- ⑤収入減で経済的に余裕がなくなった
- ⑥配偶者のリモートワーク等による生活サイクルの変化
- ⑦ひとり親・ワンオペ育児で負担がさらに増加
- ⑧地元に帰れない
- ⑨ママ友、友人と会食できない
- ⑩小学校入学と同時期だった為、学校行事・地域行事が行われず、行事内容や役員の取り決め等が未だに分からない
- ⑪母子ともにずっと一緒に過ごす
- ⑫子どもが発達障害で日頃の気分の変化が激しい
- ⑬学校行事の減少による他の親との情報交換ができなくなった
- ⑭自分のリモートワーク等による生活サイクルの変化、保育園休園中の対応
- ⑮イベントがことごとくなくなった



⑫必要としている支援・サービスを教えてください。（主なものを3つまで）

176件の回答



【設問】

- ①育児のサポート（託児サービス等）
- ②家事のサポート
- ③親同士の仲間作りや交流の場（オンライン含む）
- ④保育施設や支援センター等とのつながり（オンライン含む）
- ⑤地域の人との繋がりができる場
- ⑥子育ての悩みをオンラインで相談できる窓口
- ⑦子育てに関するセミナー（オンライン）
- ⑧経済的なサポート
- ⑨特に必要ない
- ⑩生の音楽にふれさせたい
- ⑪子どもの楽しめる地域イベント
- ⑫安心して空間を貸し切っ...
- ⑬児童センターの充実

親同士の仲間作りや交流の場と答えた人が最も多く、次いで経済的なサポート、育児のサポートを必要とする人が多い

⑬コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でもいいのでお書き下さい。

【不安・困ったこと・辛かったこと】

子どもの成長・健康・安全のこと

- コロナの影響で保育施設の参観日など急な行事変更があると、未就園児の預け先がなく(兄弟の参加は控えるように言われている)困った事が何度かあった。
- 子ども達の今しかないこの時期に色々な制限がかかり子どもばかりが我慢しなきゃいけない状況がどうにかならないかなと常に感じている。
- コロナにより育児サポートの受け入れが困難になりつつある。(受付の人数制限、優先順位付けによるものなのか、気軽にサポートを受けられない。よほどの理由がないと断られる)
- 子どもがマスクをし続ける事で、今後の発達に影響がないかが気になる。
- オンライン授業で学校を休む事によって学力の低下が心配。
- コロナ禍に子どもが不登校になった。
- 子どもの学校での姿が全くわからない。
- 小さい子にマスク、ものを触らないでなど制限だらけの生活をさせてしまっているのが辛い。みんなで輪になって手をとりあって笑えるような普通の生活をさせてあげたい。
- コロナ禍での育児しか知らないため、他の人との交流が少なく、今後も交流の仕方がわからない。
子ども同士のスキンシップがどこまで許されるのかわからない。
- 児童館の乳幼児クラブが中止になってしまうのが困る。子どもを同年代の子たちと触れ合わせたいが出来ない。
- 外出が減ると、ゲーム等が増えたり、体力低下、コミュニケーション機会が減るので心配が増える。
- 同じくらいの年齢のお友達と遊ばせてあげたいけど、なかなか誘いづらく、家族以外とのコミュニケーション能力とか大丈夫かなと思う。
- 非常事態宣言下では、外で遊ばせにくい。
公園などで子どものマスクがズレていたり付けていなくても遊ばせている親もいて、注意もしない。
マナーのレベルが人それぞれで、難しく感じる。
- コロナ禍での出産だったが新生児や子どもへの親からの感染が不安。

親のこと

- 自由に遊びにいけない。
- コロナで外出や利用の制限がかかるのは分かるが、子どもと親を孤独にさせてしまうのはやめてほしい。
- マスクをちゃんと付けなさいなど子どもに怒ることが増えた。
- 子どもと家で2人長時間いて母親はストレス溜まってイライラが止まらない。
- 繋がりたいけど繋がれない、子どもも親も迷いながら模索して生活している、コロナ禍はそんな日々だなあと感じている。
- 非常事態宣言やまん延防止が発令されると、ショッピングモールや観光地、アミューズメントパークなど行きたくても行けず我慢。解除して落ち着いてきたと思ってもまた繰り返す。

- 自分は機会があれば何か貢献したいと考える方だが、家庭の困りごとというのは表に出てこないため、何も出来ないのがもどかしいと感じることはある。
- 感染防止に対する考えが各ご家庭で違うので困ることがあった。
- とにかくしんどい、子どもとずっと一緒なので一人の時間がない。
- 出産時に立ち会い、面会がないのは精神的にも辛いものがあった。
- ひとり親家庭でもし、私がコロナになってしまったらと不安で仕方ない。
- 他者との距離感。もっとみんなと気軽な距離感でいられたらよかった。
- 会社に学校からの連絡が増えて、帰る事が増えた。その為、有給休暇がなくなり辛い。
- 気を付けることがストレスになってきている。子どものマスクのつけ方等にも厳しくなっ
てしまいつい強く言ってしまうかわいそうな思いものさせてしまっている。
- 両親が医療関係者というだけで通っている保育施設で娘が隔離されていたことがあった。
働きながら子育てもして、日々奮闘しているのにそのような対応をされると自分のせい
子どもに辛い思いをさせている...と自己嫌悪に陥る。
- 家族に陽性が出た場合自分の仕事、給料面が不安。
- 出産後コロナが流行した為、安心して外出もできず、引っ越しもしたが知り合いもいなく、
親子ともに孤独。同世代の子もまわりにいない為、悩みを相談する相手もいなく、さみし
い。
- 子どもと自分だけで孤立しがちで、ストレスが溜まる。
子どもが外に出れるようになった矢先に感染症の心配が出て児童館や習い事にいけないの
繰り返し。万が一子どもに危険が及ぶ事を考えると結局は何も出来ないと諦めてしまう。
- 濃厚接触者となった場合、家族全員で休まなくてはいけない。学級閉鎖、学校閉鎖になる
度に親は仕事を休まなくてはいけなくて、親にさえ預けることも出来ない状況は非常に辛
い。こんな生活が何回続くかと思うと本当にウンザリ。
- 仕事復帰前は人に会うことを控えていたので親子だけの時間で人と話す機会がとても少な
く孤独やストレスを感じた。
仕事復帰後は保育園に預けているが、感染リスクは高いこと覚悟で預けている。
- 子供の発熱のときにコロナリスクで祖父母に預けづらいので夫婦で交代で休みをとって
いる。熱が兄弟で続いたり、仕事と育児の両立が厳しくなった。

施設・制度のこと

- 公共施設、児童館等が閉まると行き場がない。家で過ごすには限界がある。寒い、暑い時
期は小さすぎる子どもでは外遊びもできないため、親子共々つらい。
- 子ども連れで遊びに出かけられる場所や機会が少ないのが残念。

【提案・要望】

- 託児サービスを作ってほしい。
- 気軽に育児や家事を頼めたり、来てもらったりできるサポーターさんが地域にいればと思
う。ファミサポは事前予約や金額も高く、ハードルが高い。サクッと頼みやすく（WEB
予約）、SOSが出しやすいシステムを作って欲しい。
- 子育て支援金をもう一度やってほしい。

- 地域の人と繋がれる場や、交流できる場がほしい。
- 発達障害の子どもへ支援をしてほしい。
- 発達療育を緊急事態宣言中でも感染対策下で行ってほしい。
- リモートワークができない職への少人数勤務などの対策が欲しい。
- 子どもが発熱した際、夫の職場を会社の指示で休んだが有給利用となった。会社からの指示休暇などがあつたらよかった。
- 相談施設は、土日やっていなかったり、発達関係は、他の方に理解されなかったりで孤独になりやすく、さらに周りに責められるので、余計に隠りやすくなるから、救う方がいてほしい！
- 子どもと参加出来る講座があるといい。
- 緊急事態宣言中でも公共の施設を閉鎖するのはやめてほしい。特に子育て支援の施設は気軽に相談に行ける場所として窓口を開けてほしい。
- 幼い子どもは、身体を動かしたい時期であり家庭内ばかりの環境・生活にも飽きてくるので短時間でも、時間帯を振分けてイベントなどがあるといいと思う。
- コロナ対策がしっかりしてあり、子どもがもっと体を動かして遊べる場所、施設（なるべく安い）所があるといいなと思う。
- 大人は仕事で外出、飲み会、ゴルフなど好きなことをしているのに、学校行事の延期中止や学級閉鎖など子どもたちばかり我慢を強いられている。大人に対して罰則を作るべき。
- オンラインでよいので妊娠中から気軽に相談できる窓口がすこしでも多いとありがたい。
- 休園や、リモートワークになって、結局女性側が子どもの対応をしていることが多い。男性の仕事場、社会の理解の無さが顕著に出た。休園は仕方なかったと思うが、男性も変わらないといけないという雰囲気、国には強く提示してほしかった。
- 緊急事態宣言などで給食を破棄しないといけないといったニュースを目にした。登園自粛中の食事の準備が大変に感じたので、給食費を返すのではなく破棄予定のものを支給してもらえるようなシステムがあるといいなと思った。
- 子どもだけでもマスク無しの生活にして欲しい。

【よかったこと】

- 初めての子育てには情報の収集、悩みの共有など、リアルで繋がれる人がとても大切だ感じている。環境も変わるし、家庭の愚痴など分かり合える場、またアドバイスをもらえる場がある事がとてもありがたく感じる。
- コロナ禍かどうかに限らず親の気持ちはポジティブなものもネガティブなものも、子どもに伝わっていると感じる。確かに今までの生活と違って不便が出てきてはいることもあるが、「コロナだからできない」というより「コロナでも(コロナだからこそ)できる」という気持ちで育児に臨んでいる。多治見は子育ての相談先がたくさんあるし、子どもを遊ばせられる場もあるので、本当に感謝。

○コロナ禍では、人と人とが接することを避けざるを得ないが、子育て中には、たわいない会話や何気ない出会いに救われることが多々ある。

日々の小さなふれあいが、もしもの時に「助けて」と言え、「あの人に頼ろう」と思わせてくれる。

それは、子どもが小さな頃ばかりでなく、成長しても同じだなとも実感している。

【その他】

○出産直後からコロナが広がり公的なサービスが一切ストップし、相談もまともにできずうつ状態で家事育児をしていました。そのための病院に行くことも憚られ、どうにもできませんでした。今は対策方法が確立し、かなり生活は戻っていますが、まだ制限のあるものがほとんどで、何がどう制限がかかっているのか、1つ1つ調べないといけません。そうでなくても小さな子がいる親は隔離生活をせざるをえません。コロナでなくとも気軽に小さな子どもを連れていける場がもっとももっと増えないとそもそも子育て中の親の孤立感はなくならないと思います。

○コロナ禍で、より格差が広がっていると感じる。例えば、運動する機会がある子とない子の差はかなりある。学習についても家庭で気にかける余裕と経済的な余裕があるかないかで随分違う。

子育てやその環境についての悩みも、コロナ禍前だったら、学校行事の際に保護者が顔を合わせた時にちょっとした愚痴のように話せたものが、その機会もないので、小さな悩みが積もり、爆発したように相談機関にぶつけることになっており、解決解消に至らない。

○コロナをきっかけに子どもが不登校になりました。自身が周りとのコミュニケーション減っていて最初は相談もできずいたのですが、『最近どう？子どもたちは変わらない？』との声をかけて貰ったことで、色々と周りの人へ話ができるようになって、今は相談機関へ繋いでもらうことができています。

ほんの些細な一言でも、そこから気持ちが楽になったり、次のステップに繋がっていくのだと思いました。

○夫の転勤で他県から引っ越してきました。

転居のタイミングが最初の緊急事態宣言の時だった為、自分も含めてではありますが、学校以外で遊ぶ事が出来る子どもの友達づくりの難しさを感じます。

コロナ禍だという事で、声も掛けづらいし、交流を持つ事、広げる事の難しさを感じます。

○出産前に引っ越してきて、里帰り出産のためすぐに実家に戻り、出産後自宅に戻る頃にコロナが流行り始めました。

そのため、支援センターなど他のママ達との交流の場も閉鎖、ご近所の方とも交流できず、買い物以外は家にこもる生活でした。

徐々に再開され、交流の場へ行くことも増えましたが、やはりまだ心配な部分もあり、産前に思っていたほど交流ができず、ママ友も作りにくいです。

しかし、段々子どもが成長するにつれ、他の子や大人と交流が少ないと心配な面が多いので、交流しなければと思いますが、中々踏み出せずにいます。

○仕事が減り給料も減り...でも支払いは増えて払えません...

生活費が無いです。子ども3人を月1万でどう養えば良いですか？私は我慢ができます。

食べなくても大丈夫です。

でも、子どもはそうはいきません...

これからどうやって生活していけばイイのか。

○学校が閉鎖的になり、給食も無言で食べる事や学校行事中止、自治会の行事も中止.....

とにかく人との交流が無くなり過敏症の息子は更に家の中でも10分おきに手洗いを徹底したりして、外出もマスクがダメなので、人の目も気になるし、とにかく生きにくい社会になりました。

マスクしなくてもいい、家以外での居場所や、リモートで授業が受けられる環境が欲しです。

○子育てどころではなく、介護も担っているの、子どもよりもそちらが大変でストレスです。正直、今の世の中子育てで甘えてる人が多いと思います。もっと、一人でもできるはず。私は、子ども0歳児から介護とダブルです。学校の自粛中も未就学児もいましたが、留守番で乗り切りましたよ。

○妊娠中にコロナが始まったため、プレママ教室などが全て中止になり、コロナ対策のために里帰りもやめ、不安を抱えたまま出産となりました。地元ではない土地で近所に友人もおらず、夫と子どもの3人家族のため、基本は子どもと2人きりの毎日。県外の友人と会ってリフレッシュしたくてもできない、実家に育児を頼りたくても愛知県でコロナの不安があり気軽に帰れない、ママ友を作りたくても地域の子育てイベントが全て中止できっかけがない...。育児の孤独感と子どもを危険に晒さない責任感で、毎日葛藤しています。早くコロナが終息し、ママ達が気兼ねなくリフレッシュできる日が来て欲しいものです...。また、外で会う人がマスク姿であるのが当たり前となってしまっていますが、早くマスクのない生活になり、子どもが周りの人の表情が分かるようになってほしいです。

○自分と子どもの体調変化には過敏になる。ただ病院へ行くのも少し怖い。

私と子どもは自宅で過ごす時間が長く、出かける所も限られているが、主人は仕事で他県へ行ったり、人に会ったり、たまには飲み会もあるためコロナにかかり、自宅に持ち込まれるのではないかと不安。手をしっかり洗ってくれなかったり、咳をしたり、危機管理が薄いように感じられストレスである。

子どもと2人、自宅で過ごすことは忙しいようで長い1日である。息がつまるので1日に1回は外出したいが、どこなら安全か考えてしまう。支援センターに週に1回は行くが、やはり不安はある。

楽しみにしていたイベントが中止になり残念。

実家にも帰りにくい。

窮屈、孤独だと感じる。

○今上の子の小学校の同じクラスでコロナ陽性者が出て学級閉鎖中ですが、感染者の特定をさせないためにほとんどの子供達が登校できる日にちを上まわった日数(12日間)の学級閉鎖です。PCRはマイナスでしたが下の子も保育園に極力預けてほしくないという体勢。一昨年の全国一斉休校にしてもそうですが、母親の仕事は子どものために休んで当然という社会の

風潮をコロナ禍でさまざまな形で思い知らされました。色々決めているのが子育てに参加してこなかったであろう世代の昭和の男性なので、早く頭のアップデート済んだ方が多くなってくるといいなと思います。

- 最近、このところまったくというほど、身近に子ども食堂なり、プレーパークに行くことが出来なくなりました。居場所探しがすごく大変です。私だけではないはずなので、居場所を頑張って作ったり、参加出来るようになればもっとよくなると思います。また、知らない町で住んでいらしゃるかたも居るのではないのでしょうか？

私も、知らない町で住んでみて早いもので、20年近くになります。

迷子にもなります。

不安だらけでも、しっかりとじべたに足をつけたいです。長くなりましたが、こんな感じ

【考察】

*平成の大合併で、岐阜県では唯一市だけで構成されている圏域である。

名古屋市や春日井市など名古屋圏域へのアクセスが良く、また、恵那峡など自然豊かな環境もある。

- ①「家計への影響が多少でもある」と答えた人は、全体の70%を超え、コロナ禍の影響が家計に及んでいる事が推しはかれる。

- ②「主に自分が子育てしている」と答えた人は90%近くに上り、また「孤独や不安を感じる」と答えた人も80%近くいた事から、ワンオペ育児の中でコロナ禍に見舞われ、交流やお出かけの機会が激減する中で、孤独を感じながら一人で子育てしている母親の悩みや不安が伺われる。

- ③不安や孤独の原因としては、マスクやソーシャルディスタンスによりコミュニケーションがとりづらいといった声や、児童館などの人数制限により行きにくくなったという声、また、①の所で家計への影響が少しでもあると答えた人が多かったことから、収入減で精神的に圧迫されているといった声が多く見られた。

また、②に関連して、ワンオペ育児による負担の増加が、不安や孤独の要因になっているという所も注目すべき点である。

- ④自由記述において、たくさんの声が挙がってきて、子育て家庭が抱える様々な悩みや不安が浮き彫りになった。

「コロナにより育児サポートが受けられない、断られる事もある」という状況や、

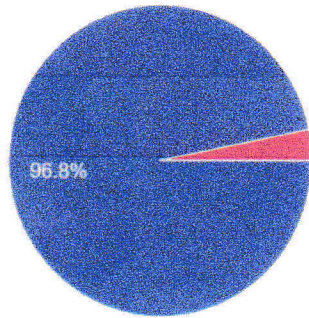
「とにかくしんどい、子どもとずっと一緒なので、一人の時間がない」「引っ越ししたが親子共に孤独」「学級閉鎖、学校閉鎖で親も仕事を休まなくてはいけなくて、何度も続いてうんざり」「うつ状態で家事育児をしていました」等々、悲痛な叫びともいえる母親の声が多く見られた。

東農圏域は、保護者が真摯にアンケートに向き合ってくれて、赤裸々な声を集める事ができたと思う。これは東濃の実情だけではないと思う。

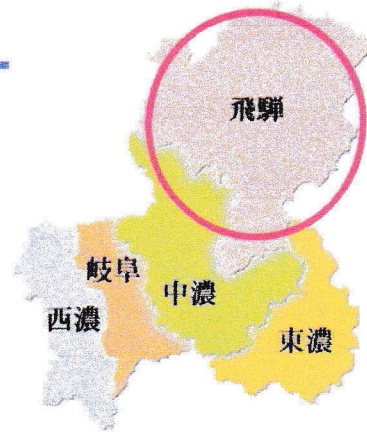
飛騨圏域

高山市、下呂市、飛騨市 【大野郡】 白川村

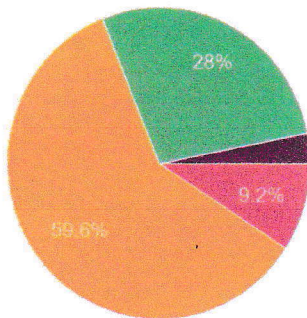
①あなた（お答えいただいている回答者）の性別を教えてください。
250件の回答



● 女性
● 男性

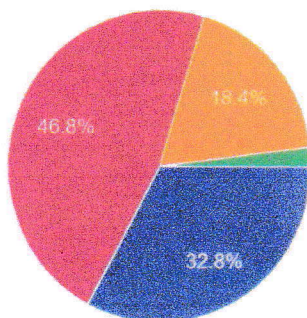


②あなたの年齢を教えてください。
250件の回答



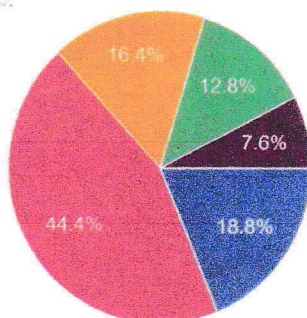
● 10代
● 20代
● 30代
● 40代
● それ以上

③同居しているお子さんの人数を教えてください。
250件の回答



● 1人
● 2人
● 3人
● 4人
● 5人
● それ以上

④新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、家計への影響はありますか？
250件の回答

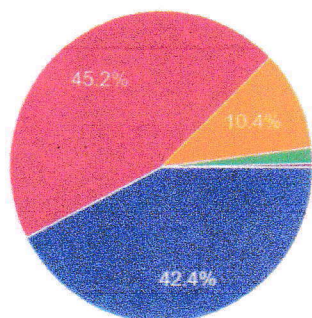


● 影響は全くない
● 影響はややある
● どちらでもない
● 影響はかなりある
● 影響は非常にある

「家計への影響が多少でもある」と答えた人
64.8%

⑤あなたは子育てにどれほど関与していると感じていますか？

250件の回答

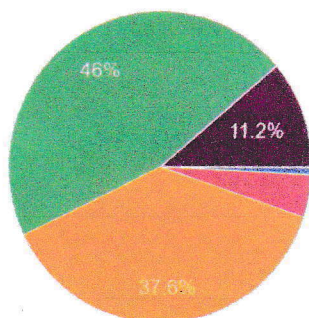


- ほとんど自分が子育てをしている
- どちらかといえば自分が主として子育てをしている
- 配偶者・同居者等とほぼ半分ずつ子育てをしている
- どちらかといえば、自分以外のかたが子育てをしている
- ほとんど子育てに関与していない

「自分が主に子育てしている」と答えた人
87.6%

⑥新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で 子育てへの感じ方の変化について教えてください。

250件の回答

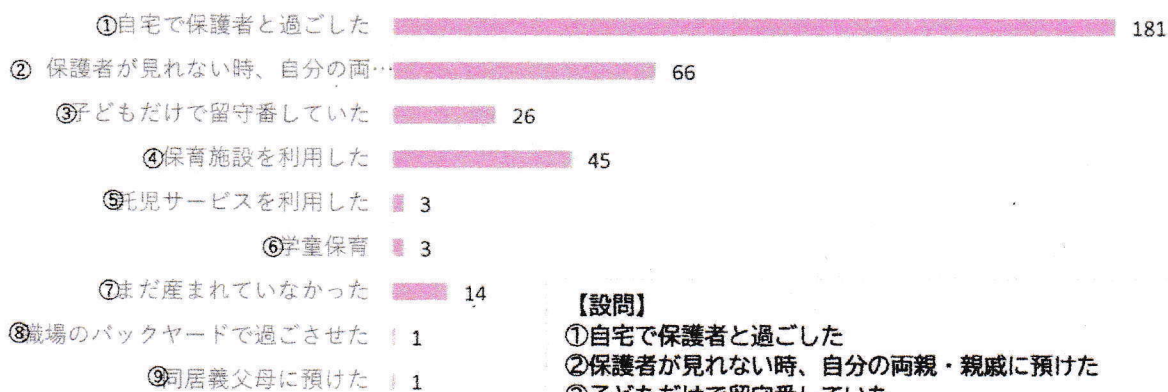


- 楽しいと感じる事が多くなった
- どちらかと言えば、楽しいと感じるようになった
- 変わらない
- どちらかと言えば、孤独や不安を感じるようになった
- 孤独や不安を感じる事が多くなった

「孤独や不安を感じる」と答えた人
57.2%

⑦緊急事態宣言中(2020年3~5月)、お子さんはどのように過ごしていましたか？

(複数回答可)



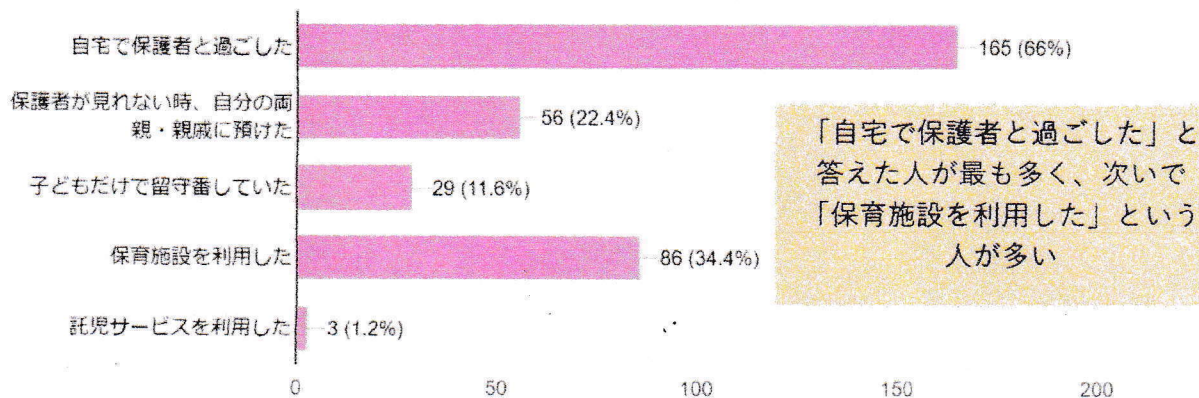
【設問】

- ①自宅で保護者と過ごした
- ②保護者が見れない時、自分の両親・親戚に預けた
- ③子どもだけで留守番していた
- ④保育施設を利用した
- ⑤託児サービスを利用した
- ⑥学童保育
- ⑦まだ産まれていなかった
- ⑧職場のバックヤードで過ごさせた
- ⑨同居義父母に預けた

「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が最も多く、次いで「自分の両親・親戚に預けた」という人が多い

⑧緊急事態宣言期間中（2021年9月）、お子さんはどのように過ごしていましたか？（複数回答可）

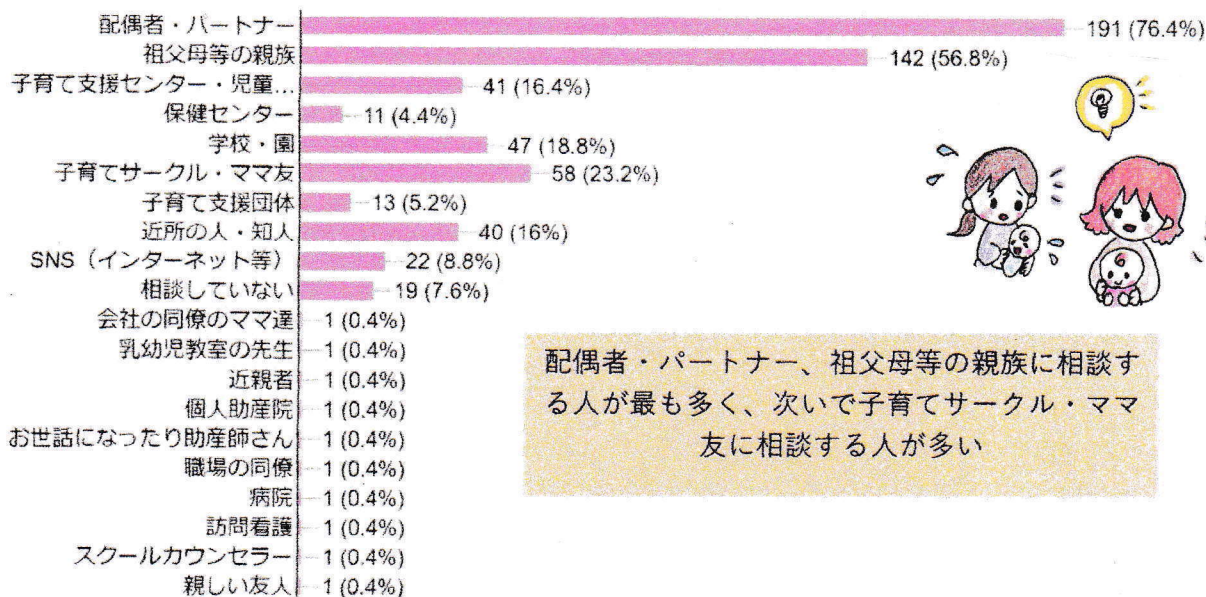
250件の回答



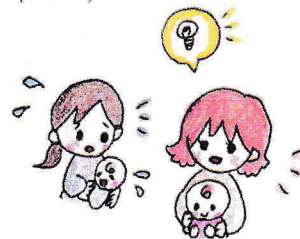
「自宅で保護者と過ごした」と答えた人が最も多く、次いで「保育施設を利用した」という人が多い

⑨コロナ禍において、子育てに関する相談は誰にされていますか。（複数回答可）

250件の回答

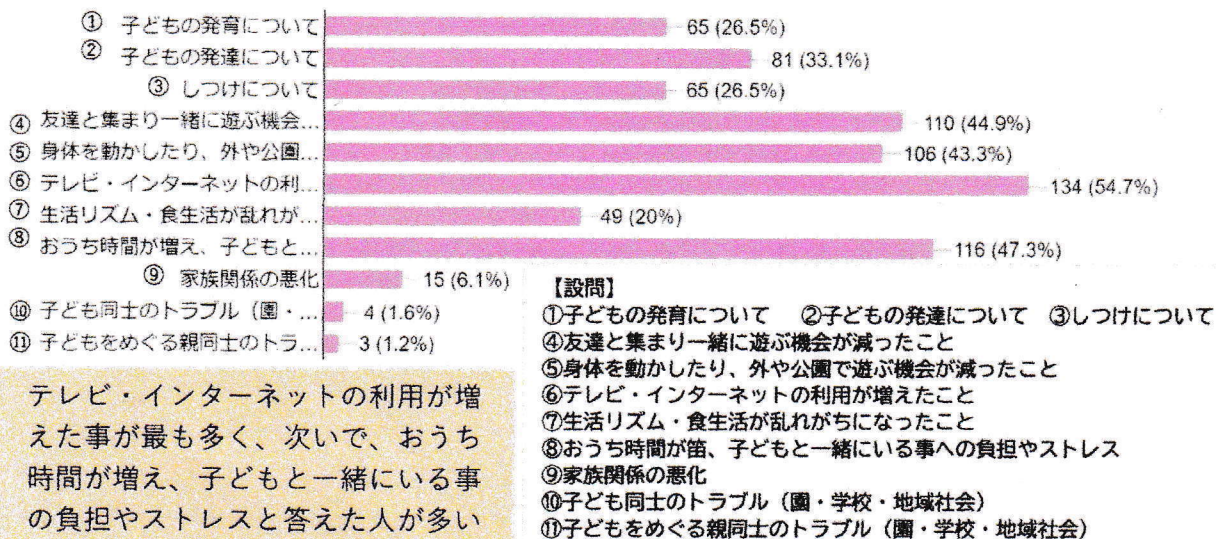


配偶者・パートナー、祖父母等の親族に相談する人が最も多く、次いで子育てサークル・ママ友に相談する人が多い



⑩相談したり、不安に感じた事がある方はどんな事ですか？（主なものを3つまで）

245件の回答



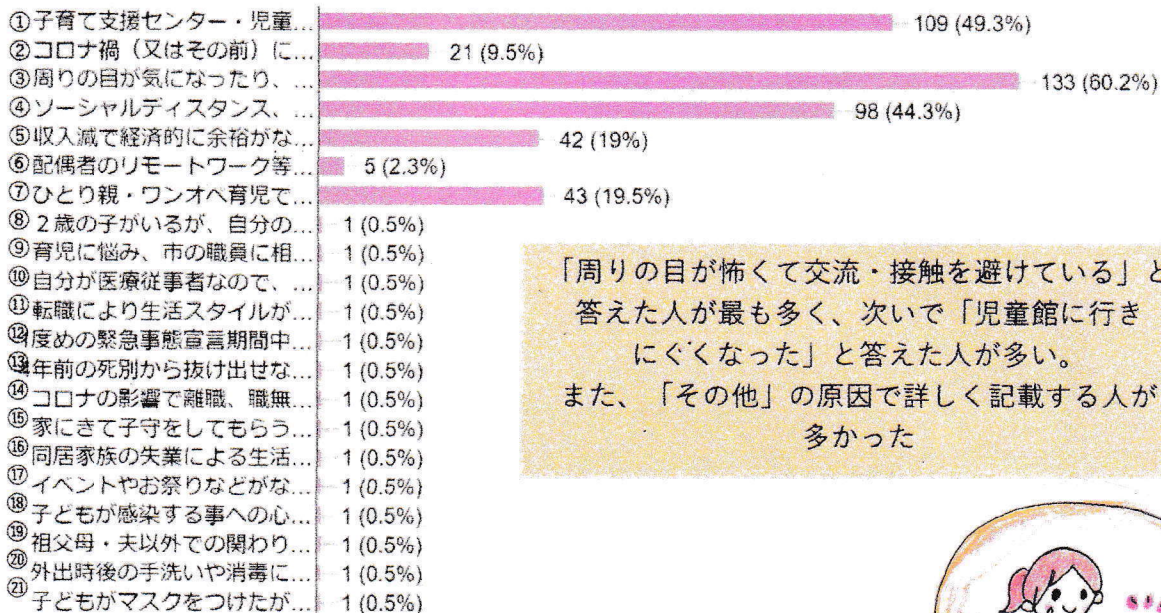
テレビ・インターネットの利用が増えた事が最も多く、次いで、おうち時間が増え、子どもと一緒にいる事の負担やストレスと答えた人が多い

【設問】

- ①子どもの発育について
- ②子どもの発達について
- ③しつけについて
- ④友達と集まり一緒に遊ぶ機会が減ったこと
- ⑤身体を動かしたり、外や公園で遊ぶ機会が減ったこと
- ⑥テレビ・インターネットの利用が増えたこと
- ⑦生活リズム・食生活が乱れがちになったこと
- ⑧おうち時間が長、子どもと一緒にいる事への負担やストレス
- ⑨家族関係の悪化
- ⑩子ども同士のトラブル（園・学校・地域社会）
- ⑪子どもをめぐる親同士のトラブル（園・学校・地域社会）

①不安や孤独を感じた事がある方は、 どういう原因があると考えられますか？（主なものを3つまで）

221件の回答



「周りの目が怖くて交流・接触を避けている」と答えた人が最も多く、次いで「児童館に行きにくくなった」と答えた人が多い。また、「その他」の原因で詳しく記載する人が多かった

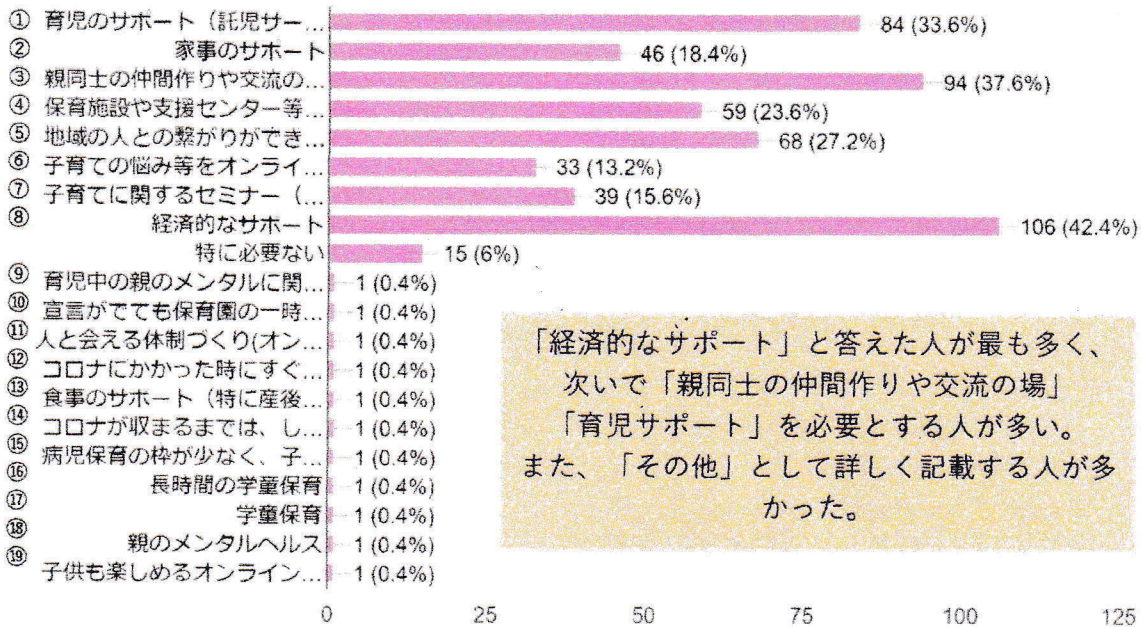


【設問】

- ①子育て支援センター・児童館の人数制限により行きにくくなった
- ②コロナ禍（又はその前）に移住した為、地域との繋がりを作れず、近くに頼れる人がいない
- ③周りの目が気になったり、感染が怖くて交流・接触を避けている
- ④ソーシャルディスタンス、マスク生活でコミュニケーションがとりにくい
- ⑤収入減で経済的に余裕がなくなった
- ⑥配偶者のリモートワーク等による生活サイクルの変化
- ⑦ひとり親・ワンオペ育児で負担がさらに増加
- ⑧2歳の子がいるが、自分の通院時や祖母の通院介助時にいつも利用していた保育園の一時保育がまん延防止や緊急事態宣言が出る度に預りが中止となり、非常に困った
- ⑨育児に悩み、市の職員に相談したら「それは仕方ないことだ」と一言。それで相談する気がなくなり、誰にも話したらダメなんだな—と思ったので、相談する気がなくなった事も大きいかと。あと、その人にしか相談してないのに、なぜか他の人がその内容を知っていたので信用できない。
- ⑩自分が医療従事者なので、子どもも制限が厳しくなったこと
- ⑪転職により生活スタイルが変わったり、収入や時間が少なくなって、心のゆとりが減った
- ⑫1度めの緊急事態宣言期間中、第2子を妊娠中でつわりが一番辛い時でした。自宅保育中の上の子のお世話が全くできず寝たきりでしたが、一時保育は利用できず、両家は遠方なので頼れず、子どもと遊んであげられない申し訳なさ、つわりが辛いので生き地獄のような毎日でした。夫はリモートワークできる日は家にいてくれ、精一杯サポートしてくれましたが、出社しなければいけない日もあったので、そういう時に短時間だけでも子どもの相手をしてくれる人がいればと強く思っていました
- ⑬4年前の死別から抜け出せない
- ⑭コロナの影響で離婚、職無し生活
- ⑮家にきて子守をもらうサービスを使いたくてもコロナが気がかりで頼みづらい。それによって精神的にも身体的にも負担をより感じる。自分の体調が悪いときは特に孤独を感じる
- ⑯同居家族の失業による生活環境の変化
- ⑰イベントやお祭りなどがなくなって、楽しみが減った
- ⑱子どもが感染する事への心配と、人と関わりづらい世の中になった事
- ⑲祖父母・夫以外での関りがほとんど無くなり、外との繋がりが無くなった。育休中の為、職場との関りも無くなってしまった
- ⑳外出後の手洗いや消毒に神経質になり、子どもにも過剰に強いてしまう。自分に発達グレーがあり、その症状や特性が強くなるようになっており、心身の負担が大きい。子どもを含めた家族にも大きな負担を強いていると感じる
- ㉑子どもがマスクをつけたがらない。アレルギーがあるため、手荒れがひどく消毒を嫌がる。手をなめる。落ちたものを食べる。どこでも触る。

⑫必要としている支援・サービスを教えてください。(主なものを3つまで)

250件の回答



「経済的なサポート」と答えた人が最も多く、次いで「親同士の仲間作りや交流の場」「育児サポート」を必要とする人が多い。また、「その他」として詳しく記載する人が多かった。

【設問】

- ①育児のサポート(託児サービス等)
- ②家事のサポート
- ③親同士の仲間作りや交流の場(オンライン含む)
- ④保育施設や支援センター等とのつながり(オンライン含む)
- ⑤地域の人との繋がりができる場
- ⑥子育ての悩みをオンラインで相談できる窓口
- ⑦子育てに関するセミナー(オンライン)
- ⑧経済的なサポート
- ⑨特に必要ない
- ⑩育児中の親のメンタルに関する相談ができる場
- ⑪宣言が出てでも保育園の一時預かりを必要とする人は必ずいるので、一時保育を行っている園では一時保育を継続して利用できるようにしてほしい。親同士の交流の場や支援センターとのつながりは、1、2歳の小さい子を見ながらオンラインでの参加は実際にはほぼ無理でした。人数制限や密にならない工夫をして、実際にその場に行き、子どもと一緒に参加できる形を望んでいます。
- ⑫人と会える体制づくり(オンラインではない)
- ⑬コロナにかかった時にすぐ子どもを預けられる場所
- ⑭食事のサポート(特に産後しばらくは身体がボロボロになっていたため、栄養のある優しい味の食事を届けてもらえたら...と思っていた。もちろん子どもが月齢を重ねた今でも欲しい)
- ⑮コロナが収まるまではしょうがないと思っている
- ⑯病児保育の枠が少なく、子どもが体調を崩すと預けられないことに大変困っています。
市内の病児保育施設拡張、増設を願っています
- ⑰長時間の学童保育
- ⑱学童保育
- ⑲親のメンタルヘルス
- ⑳子どもも楽しめるオンラインイベント



⑬コロナ禍における子育て環境について、日頃から感じている事がありましたら、要望等も含めて、どんな事でもいいのでお書き下さい。

【不安・困ったこと・辛かったこと】

子どもの成長・健康・安全のこと

- 子どもたちも大人もマスクで表情がわからず、お互いに気持ちが伝わるか不安。発達発育に影響がないか心配になる。
- 成長期の中でしっかり呼吸させてあげたいのに子どももマスク生活しなければならない。
- マスクで顔が見えないので今後子どもが相手の気持ちを考えて話したり、関わったりできるのか心配。
- 子どものマスクが息苦しそうで不安。
- 子どもの身体を使った遊びを提供しづらく、発育に悪影響が出ないか心配。
- 学校や幼稚園での教育が、コロナ前のカリキュラムと比較して遅れていないか心配。
- 子どもと家にいることが増え、何をして遊ぶか悩む。
- 子どもが外出する事を嫌がるようになり、家族間でイライラすることが増えてきた。
- 子どもの行事が中止になってしまっていていつまで我慢をすればいいのか限界が近い。
- 子どもの体験や経験が減った。
- 子どもたちの笑顔が減っているように感じている。
- 一生に一度しかない今を一緒に楽しんだり行きたいところへ連れて行ったりしてあげたかった。
- 感染者が増えてしまうと遊び場所があっても遊ぶの大丈夫かな？と気になってしまう。
- まだ入園前の子どもに同世代の交流の場がなさ過ぎて不安になる。
- 病児保育が不十分にしか機能していない。
- 子どもへのワクチン接種が怖い
- 自分がコロナに感染した場合に子どもをみてもらえる人がいない。
- 不登校傾向にあった息子が、長期の夏休みを過ごし本当に学校へいけなくなった。部活ですら頑張る気持ちを失った。スマホ依存となり人との関わりも減っている。
- 子どもがテレビやスマホを使い、ゲームや動画が多くなってしまう。また親もそれに頼ってしまう。
- 入園前の子どもとやりたかった事ができなかった。コロナ禍でも親としてもっと出来ることがあったのでは？と考え後悔することが多くて辛い。
- 離乳食や保育園などの情報収集など、なかなかできなかった。
- マスクをしたくないのにさせられ、少しでもマスクがズレると注意され、友達とは自由に遊ばずで子どものストレスが増えたように感じる。
- 保育園をなるべく休ませて過ごせたら良いのだが、子ども達は行きたいと言うので、どうしたら良いのか悩む。
- 家庭内、保育園・小学校などかなり制限された環境で子どもたちが過ごしているので心身ともに成長が妨げられてしまうような気がする。
- ゲームやスマホばかりで会話も減り、今まで以上にコミュニケーションがとれなくなった。
- 幼い子どもはマスクもほとんどできず、すぐ物に触ったりするため外出が怖い。

○子どもが生き物に興味をもち始めたため、水族館や動物園などに行きたいが、県をまたぐ移動であったり、距離があり、以前のように気軽に外出ができなくなった。

子どもが生まれてからコロナ禍になったため、家族旅行にも行けず思い出が作れない状況なのが残念。

○平日子どもだけで留守番している時にお昼ご飯の心配がある。

お弁当の配布なども子どもだけでは取りに行けない。(配布場所まで距離がありすぎるため) 宅配なども子どもだけだと受け取りに不安があり頼むことができない。

○公園や児童館など、知らない子ども同士が触れ合う時やおもちゃを共有する時に衛生面で不安を感じたり相手の親御さんが不快に思っていないか気にしてしまう。

○児童館を利用していたが、使いたいおもちゃが他の子と同じだとすごい密になってしまう。

親のこと

○行事への参加人数の制限のため参加出来ないことがあり寂しく思う。

○出かける機会が減った。遠出できなくなった。

○外出がしづらくなり、親も息抜きがしづらくなり、親のリラックスする場もなくなった。

○コロナ禍とともに、出産したため、出歩くことが少なくなり、友達と遊ぶ回数が減った。

○どこまで距離を取るべきか人によって異なるので話しかけづらい。

○人と会って話す機会が減った為、ストレスや孤独感を感じる。

○結婚してからこの地に来たので、なかなか人との関係を作ることが難しく、先行きが不安になることが多い。

○マスクや咳や熱等、気にする事が多く、また、気にされる方も多く、必要以上に神経を使い大変。

○収入は減っているのに、マスクや除菌等お金が掛かかる。これから、学費等、子どもにお金が掛かるのに不安。

○色々な制限があるとふと余裕ができた時に気軽に行動できない。

○母親学級や誕生月生まれの集まりなどが無いので寂しく思う。

○保育園休園で仕事を休まざるを得ずもやもやする。外出を控えているので親も子どももストレスフル。

○母親の負担が多いため、心身の疲れが辛い。

○保育園と幼稚園に子どもを預けているが少し鼻水が出る、咳き込むとすぐに電話で呼び出され、即帰宅を迫られる。軽い症状でも治らないと2週間以上仕事を欠勤する事もあり精神的にとっても辛かった。

○障害のある子どもは緊急事態宣言で学校が止まってしまった時預ける所が全くなくなってしまった。どうすることもできず仕事もできず本当に大変だった。

また、1時間だけ見ていて欲しいなどでも預ける所がない。知識のある人にしか預けられず大変。

○風邪の初期症状が出ただけでも、学校や幼稚園は預かってはくれないので 仕事を休む事が多くなり辞めざるをえなくなった。新しい仕事も探しづらく感じている。

子どもや自分が感染したら仕事ができず収入がなくなるなど不安が多くて困る。また、疑心暗鬼になりやすくて困る。

- コロナ禍で食べていくのがやっとの生活になり2年後の大学費用が心配でたまらない。
- コロナを理由に諦めざるえないことが増えストレスがかなり増えている。
- こちらが気を張っているにも関わらず市の(子どもの)検診などの際に衛生面やソーシャルディスタンスなど詰めが甘くはっきり行かないと言っても。何度も来て欲しいと電話がかかってくるなど面倒だった。
- 親が病気になった場合も子どもが病気になった場合も頼れる場所がない。
- 人々の噂ばなしが嫌。あつと言う間に広まって感染者の情報とかも分かってしまうのは子育てしながらとても不安。
- 子どもが濃厚接触者になる度に休まなければならない無限ループ。
- 家族の感染が起きた際にどのように対応するべきなのか、感染した後の生活が想像できない。

施設・制度のこと

- プレミアム商品券はお金がなかったら買えない。
- 飛騨は良い公園がない。
- 家から歩いて行ける所に公園がなく、公民館は遊具がないので安全に遊べる場所がない。
- 子供が食べられるメニューを置いてるお店が少なく高山市での生活で不便さを感じる。
- 10ヶ月相談、2歳児相談がなくなり困惑した。
- 写真店もどんどん閉店して行き、写真を撮る場所が減っていて残念。

【提案・要望】

- 地域の中での支援体制作りが大切だと思う。
- 子どもを見てもらいたい。
- 病児保育を充実させてほしい。
- コロナでなく風邪であることを証明できたら用事や仕事があり保育園休ませないといけな
い時に預かってもらえるようなところがあってほしい。
- 話を聞いてもらいたい。
- 気持ちを吐き出すところがほしい。些細なことを気軽に相談できるようにしてほしい。
- 地域のママ友同士で繋がりたい。
- 孤立せずに頼れるところがほしい。
- 家事の代行などしてほしい。
- 家事・育児を頼める場所はあるが利用料金が高いので公的な支援を充実してほしい。
- 無料や安価で支援してもらう機会が増えると良い。
- 室内遊び場の人数制限があるので場所を増やしてほしい。
- コロナ禍だからこそできる事(工作、イベント等)がもっとあると良い。
- もっと家の中で楽しめることがあればいい。
- イベントが中止になるなか zoomなどの普及や 習える機会など欲しい。
- 子どもが楽しめる機会がたくさんほしい広いスペースで思い切り発散できる場所がほしい。
- ピックアリーナのサブアリーナ解放や、世界文化センターなど、屋内で走ったり跳び跳ね

たり、発散できる環境があったら嬉しい。

- ひとり親への支援が必要だと思う。市に独自の政策をしてほしい。
- 感染予防しながら子どもの行事はなるべくやってほしい。
- 学校後、友達同士で気軽に交流できる場所や機会があると嬉しい。
- 産後の家事・育児が大変だったので他の県や市のように、ファミリーサポートがもっと充実していればいいなと切に思った。
- 地縁団体や子育て支援団体が連携をとっていけばいっそう子育て環境が整うのではないかなと思う。
- ワクチン接種は高齢者優先となっているが、妊婦やその家族、病児やその家族を優先すべきと思う。特に妊婦については緊急時の受け入れ先が少なすぎる。
- 2歳児相談や7ヶ月相談、全て中止になってしまったので延期や完全予約にして対応して欲しかった。
- もっと地域とのつながりを深くする、昔の人から知恵を学ぶ機会を作る、逆に子どもたちの元気さをお年寄りの人にも伝えるなどできるといい。コロナのせいだけで、子育て環境が変化したわけではないように思う。コロナ禍になって、孤立する家庭が増えたかもしれないが、今後も災害とかさらなる感染症とかいろんな状況におかれる可能性があるので、柔軟に対応できる取り組みができるといいと思う。
- 仕事にも支障が出てくるため今後も感染拡大したとしても保育園は利用を継続してほしいと思う。そのためにも保育園での環境整備や先生方の労働環境を改善してほしい。
- 核家族で孤立しがちな方に保健師や支援センター職員等が訪問や電話で連絡を取り、サポートしていくことが必要かなと思う。
- 緊急事態宣言であっても児童館を閉めないでほしい。
- 小さい子どもにもマスクをさせて我慢を強いる保育に疑問を感じる。自然豊かな環境で菌と共生して強く生きるべき。都会とは違う、飛騨高山独自のコロナ対策を検討すべき時期だと考える。
- 検診がなくなったので子どもの体重や身長を気軽に測れるように、いろんな施設に設置してほしい。
- 親子共々ストレス発散できるところがほしい。
- 大変な世の中だが子供たちには遅く生きていてもらいたい。
- 育児のイライラや疲労を緩和するため、岐阜大学名誉教授の元島名誉教授が発見したCMC（カーボンマイクロコイル）を活用すると良いと考える。
- 登園を自粛した分保育料の減額をして欲しい。

【よかったこと】

- 宅食の利用は安い値段でボリュームのあるお弁当を届けてもらえてよかった。
- 宅食の利用で週に一度でも家事を休めるのはありがたかった。
- 託児を利用できてよかった。
- チャイルドランドなど遊び場があってよかった。
- 安価でスムージーが提供されたことはありがたかった。

- 高山市は児童館や遊びに連れて行く場所は充実していると思う。
- わらべうたの会やヒダマミーさんなど色々な子育て応援団体やまち協さんのイベント等がありがたい。
- 他の地域、県に比べて感染者も少なく、児童館や公園に遊びに行きやすい。
- コロナで出かける事は少なくなったけど、家族の時間は増えたしみんな散歩やサイクリング、今は雪遊びをして過ごしている。
- 人との関わりが減ってむしろ楽に感じている。コロナ禍が終わっても、ずっとこのままでいいなと思う。
- 行動制限が厳しく、旅行や外食がとて減って、お金を使う機会が減りお金がたまった。
- 子どもが1人で留守番できるようになった。
ご飯を作ったり、家で遊べる方法を考えたり、子どもなりにいろいろ考えてできるようになった。
- 保育園、幼稚園、学校は通常通り機能してくださっており、大変ありがたく助かっている。
教育団体への感謝の意を表したい。
- 飛騨地方は都市部に比べれば危機の実感が薄い為かあまり「コロナ禍だから」と感じる事はない。それよりは「コロナ禍だからこそ」に目を向けるように心がけている。
- おうち時間が増えて子どもと接することが多いのでちゃんと話を聞く時間を作りたい。
- 子育て世帯への給付金はとてもありがたい。
外出の機会などは減ったが学童保育を利用できたので収入が変わらなかった。

【その他】

- 郡上市に住んでいます。アンケート対象外でしたら申し訳ありません。(実家が高山です。)
マスクなしでの登園をお願いするにあたり、保育園や市役所(郡上市)に幾度か足を運び、話し合いをしました。普段、娘はマスクなしで生活できていますが、「何でマスクしないの？」と友だちに言われることもあり、そのあたりのトラブル？が気になりました。コロナ禍、といわれますが、都会の子どもたちに比べたら、外で遊ぶこともできるし散歩もできるし、田舎で良かったと思います。でも、田舎あるあるだと思いますが、2020年春頃は、隣近所から「帰省している、と思われるから来ないで」と言われ、親世代(60代)は人目を気にするなぁと思いました(^_^;)今は何も気にしません。
- このコロナ禍で次男の高校の卒業、長女の高校受験、入学、次男の就職活動、自動車学校など様々な経験をしてきました。親子共にコロナ禍で不安もあり、制限もあるなか、我が家はなんとか全て乗り越えることができましたが、長男で経験していたから少しの不安で終わる事ができていたが、これから初めてだと思うと不安は倍以上に感じると思います。実際一番不安だったのは市外に就職する息子のアパート探しや引っ越しでした。
まだ近い場所であり日帰りが可能でしたが、これが遠方だと思うと…。仕事柄、このコロナ禍で仕事も逆に忙しくなり、感染予防で規制もあり色々大変でした。我が家は相談できる人や助けてくれる人が沢山いるから、なんとか生活が成り立ってますが、ひとり親の方やワンオペの方など、どんな人でも不安を吐き出せる環境が整えられるといいなぁと思

います。

○コロナ禍になり3回目の家族全員での自宅待機です。今回は上の子(小学校2年生)が学級閉鎖となりPCRの対象になりました。このような場合、学習の遅れについて公正なフォローはあるのでしょうか?不公平がないように学校には事前に学級閉鎖後のそのクラスの対応について明確に示してもらいたいです。他のみんなは登校しているのに自分だけ登校できないのでメンタルがやられて、泣きわめき、可哀想です。こういった場合も学校からカウンセラー等の紹介がすぐさまされるべきだと思います。誰も責めれないことはわかっています。ただ自宅待機となった家庭は行き場のない怒りと孤独で、崩壊寸前です。それでも家のなかでは子どもたちの為にと平然を装うストレス。

とにかく、市でも学校でもNPOでも、感染者へのフォローも大切かもしれませんが、自宅待機者へのフォローも切に願っています。

○外食も観光も遠方へのお出掛けもなにもできなくなり、更に子どもの方が親よりも敏感にコロナに反応して、絶対に家からでない、近くのスーパーへの買いものすら着いていかないと、かたくなになってしまいました。それに対し少くらい外の空気を吸って欲しいと思っても、伝わらず、絶対にだめ。絶対に家にいると、精神的にも子どもも親も追い詰められた気がします。今は多少一緒に買いものには着いてきますが、少しマスクがズレていても、『マスク!』と、過剰反応している子どもをみていると、心に余裕がないんだと思います。

受験を控え更なる見えない不安や精神状態が気になります。

○子ども同士遊ばせるのも怖いし、相手の保護者にも申し訳ない気持ちはあるけれど、かといって制限するのも可哀想だなと思いながら日々を過ごしています。ひとり親世帯なので仕事が減るのも困っています。養育費ももらえてないですし、国の支援に頼るしかないので国、市共に対応が遅く間に合っていないのが現状です。日々の生活費用にかかるお金を消費者金融で借りるしかなくて借金が増える一方です。このままでは本当に首を括るしかないかなと思うくらいに苦しいです。たかが10万程度給付されたところで間に合いませんし節約はしていますが今後の事を考えると心配で眠れません。わたしも、子どももストレスがたまる一方です。

○通っている保育園で陽性者が出たとき実際にどんな症状でどうなったのか何も情報が無かった。他の学校や保育園幼稚園でも陽性で隔離や外出自粛していることや接触者が検査を受けること以外は情報共有されず、毎年の風邪やインフルエンザや胃腸炎などは発症した家庭からどんな様子だったか、どんな傾向なのか、気軽に情報共有されていたのに、コロナに関しては感染当事者が咳なのか熱なのか無症状なのか全くわからず、本当に自分が感染したときの用意や対策が立てられない。

誰が、どこから、何人が、ばかり強調されて、肝心の症状についての具体的なことがなぜ表に出ないのか、余計に不安になる。ただの風邪でも、高熱なのか、ほとんどは鼻水だけとか、喉が腫れて子どもが辛そうだったとか、何かしら傾向がわかるだけで安心材料になるのに。

あと、学校や保育園幼稚園でのマスクについて、当初はコロナが落ち着くまでと思っていた常時マスクが、まさか何年も続き、この先の学校生活でもまだまだ続きそうな気配がま

してとても心配。運動や外遊びの時間はマスク外して良いのではと思う。大人でも苦しくてキツイのに、身体を動かしている小さな子どもたちが一日中マスクを強いられるのは心配。例えば保育園ならマスクなしゾーンを決めて、園舎の一角や園庭に間隔を空けて椅子を置いたり敷物やマーキングなどでフリーマスクの選択ができるようにするとか、一律きっちりマスク！を強いらずに子どもの逃げ場を作ってほしい。誰もが見てわかる「ここでならマスク取っていいよ」の場所があれば上手く言葉で意思表示できない子がマスクによる不調を訴えることもできるのではと思う。ずっとこのまま「感染防止にマスク着用」だけで思考停止しないで前向きに別な方法で子どもの負担が軽減できる対策に更新して行ってほしい。国や県の指示だけでなく、各地域いろんな分野の大人たち、子育て当事者の保護者たちも一緒に意見交換して子どもの為に話し合っていくべきだと思う。

- 蔓延防止や緊急事態宣言がでるたび、児童センターや子育て支援センターが閉鎖になると、親子で家にこもりがちになり、子どもも発散できないし、同じくらいの子も同士遊んだり交流したりする場が失われてしまう。天気が良く、暖かい季節はまだ公園などにもいけるが、寒い季節や雨や雪の日は行き場がなくなってしまう。蜜にならない工夫をして施設を利用できるようにしてほしい。コロナ前の上の子の子育て時より、コロナで閉じこもりがちだった1番下の子は運動面や言葉の発達が遅れ気味でした。

保育園の一時保育も中止になったり利用に厳しい制限がかかり必要なときに利用できないのがとても困りました。宣言などがでて、継続して利用できるようにしてほしいです。支援センターなどの親への勉強会や、親子参加の行事が、ずいぶんオンラインに切り替わりましたが、小さい子を家で見ながら、パソコンやパットに向かうのは現実には無理で、あまり意味がない気がしました。

オンライン環境が整っていない家庭にも参加は難しいし、やはりいろいろ工夫しながら、実際にその場に行って話を聞いたり、質問や相談ができる支援が欲しい。ほかの親子と交流したり親子で一緒に参加できる行事もしてほしいと願っています。

- 意図が違う回答になります...

オミクロンは特に重症率、死亡率、感染力ともにインフルエンザよりも軽いです。

インフルエンザの時は非常事態宣言になっていないのに、流れてくる情報を鵜呑みにして行政が出した令に、従うだけというのに疑問や違和感を感じています。

行政が正しいのでしょうか？

それに背いたら悪なのでしょうか？

その辺り、少しの違和感も感じませんか

非常事態宣言になり、保育所、児童センターもおやすみになり、乳児検診も中止になるのが残念でなりません。

乳児持ちとしては児童センターは子にも親にもお互い家にいるときより解放される必要な場所だと思っています。

個人的に相談機関にいたりして相談する程の悩みでもない場合は特に。

乳幼児検診は特に大事な事だと思うのですが、工夫して実施できないのでしょうか？

- 20年5月頃より仕事のこと、こどもの発達について悩み、鬱になり通院が必要になりました。

市の検診などの遅れがあるのに、市の関わりは遅いし、行き届いてないと感じました。

民間の支援サービスが増えることを望みます。

- 個人事業主の母子家庭ですが、兄弟片方が体調不良だと、預かってもらえないようになり、2人ともいると仕事を断ることしかできず、収入がなくなります。元気な方だけでも預かってもらえたら少し仕事ができるので保育園の感染も心配ですが、働く親のための場所を考えてほしいです。

そして、何日も休むのに通常通りの保育料を払う事にも負担が増えています。

- 自営の為収入そのものがあまり無く、販売場所の確保、売上を上げる為に長時間労働をしている。

子供との触れ合いを(主に休み)犠牲にして働く為子供に我慢を強いている。

飲食店ばかりに金をばらまいても、私の店には何も無い行政の支援策が全体に平等になれば過ごしやすくなるかと想います。

キッチンカー事業にも支援策を！！

- マスク着用は強制ではないはずなのに、マスク着用していないと未だにすごい目を向けられ圧力を感じます。マスクをしていると子供とのコミュニケーションが取れないし、まだ赤子だと顔が認識出来ず不安がってしまいます。マスク着用が感染を防げるものではない事はこの2年間の結果に充分表れているはずなので、過度なマスク着用の感染防止対策はやめていくようにしてほしいです。

- 繊細な子なので、学校の変化についてゆけず、不登校気味になってしまい、親はかなり悩みました。仕事も減らさざるをえず、収入も減り、余裕がなくストレスは増え、最近は頼みの綱の療育機関もコロナが理由でやってない。

学校も多忙でこちらの相談も満足に聞いてもらえず、放置状態。

とにかくみんな自分たちのことで必死ということはわかります。だから自分のことは自分

【考察】

*日本一広大な面積を有する高山市、下呂市、飛騨市、白川村で構成されている圏域。山間地域が多く、子育て家庭はその中に点在している。

①「自分が主に子育てしている」と答えた人が90%近くに上り、その中で「孤独や不安を感じる」と答えた人は60%近くいる事から、ワンオペ育児に奮闘するさ中にコロナ禍に見舞われ、孤独感や不安を抱えながら子育てに頑張った母親の姿が見て取れる。

②「不安に感じた事」については、「子どもと一緒に家にいる事の負担やストレス」と答えた人がかなり多く、その後の自由記述の中でも、休園や登園自粛により子どもと一緒に家にこもらないといけない状況に陥った人が多く見られたことから、その事が負担やストレスになったという人が多かったという事が伺われる。

③「不安や孤独の原因」を答える問い(⑪)では、「その他」として、自分のケースはこうだったと切々と記す人が多く見受けられた。

「市の職員に相談したら『それは仕方ないこと』と一蹴されて、孤独に陥ってしまった」「緊急事態宣言中、妊娠し、つわりがひどく、上の子の世話ができず、一時保育も利用できず、両親も頼れず生き地獄のような日々だった」「コロナの影響で離婚、職なし生活」等々、深刻で切実な声が多く見られた。

④「必要としている支援・サービス」についても同様で、「経済的なサポート」「育児サポート」「親の交流の場」という答えに加えて、親のメンタルに関する相談ができる場「宣言が出て一時保育は継続してほしい」「親がコロナにかかった時に子どもを預けられる場所」「病児保育の拡充」など、切実な声が多く挙がっていた。

⑤自由記述は本当に多くの声が寄せられた。

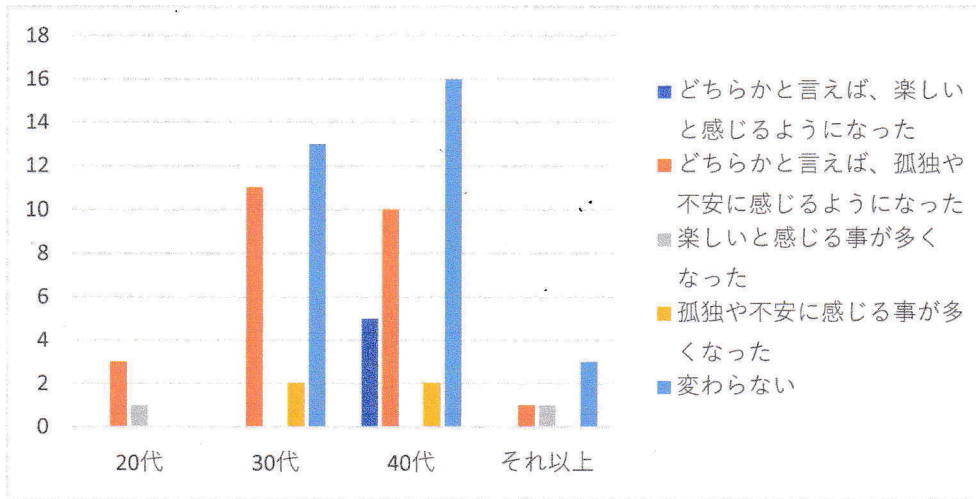
マスクの悪影響を心配する声が多数寄せられた上に、子どもがコロナ禍を機に不登校になってしまった、好奇心や探求心が旺盛な幼少期にいろいろな体験をさせてあげられない事への不安や苦痛、障害のある子を1時間でも預かってくれる所がほしい、食べていくのがやっとという状況になってしまった、プレミアム商品券という支援施策があったが、金銭的に苦しく買えなかった、といった、切実な声や、中には「ひとり親で生活が困窮している、このままだと死を選ぶしかない」といった悲痛な声も寄せられた。

飛騨地域で子育て支援活動を行っている者として、こういう切実な声、SOSをしっかりと拾い上げ、寄り添えるように、行政や専門機関と連携をとっていかなくては...と心底痛感した。

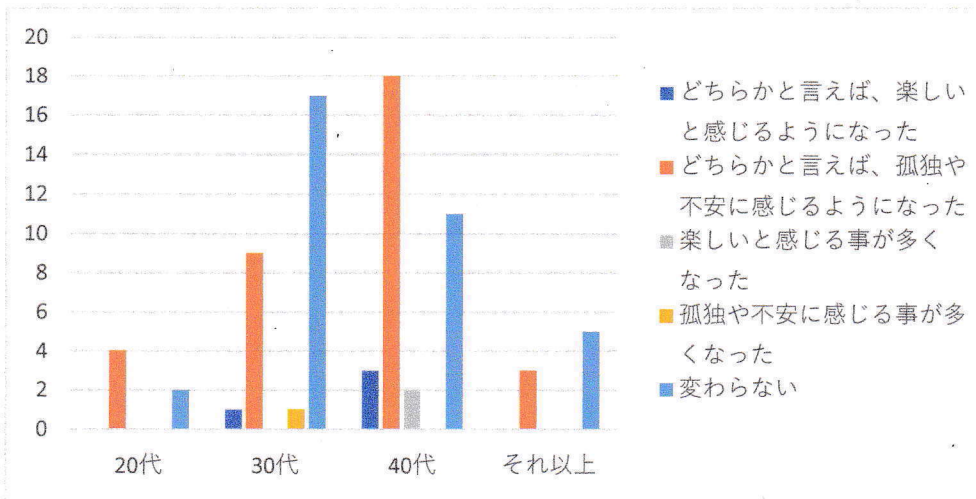
⑥広大な山間地域に集落が点在している飛騨圏域では、他の圏域と比べて、子育て家庭の経済的な困窮、孤独や孤立、子どもの発達や発育状況の遅れ、不登校や情緒不安などの状況がより多く見られ、そのような状況に対する公的な支援、専門機関の支援、子育て支援の民間団体の支援など、あらゆる支援を講じて、きめ細やかに寄り添っていく事が求められる。

新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について
回答者の年齢別グラフ

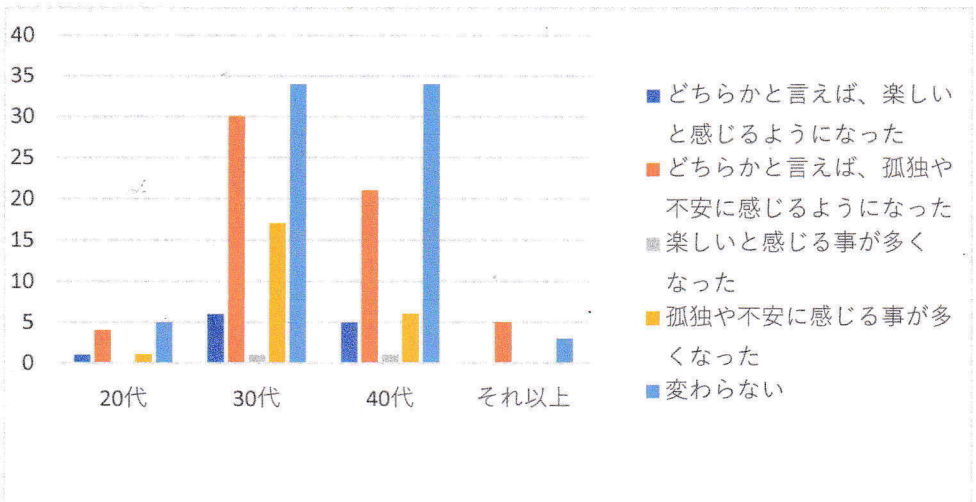
岐阜市内



岐阜圏域

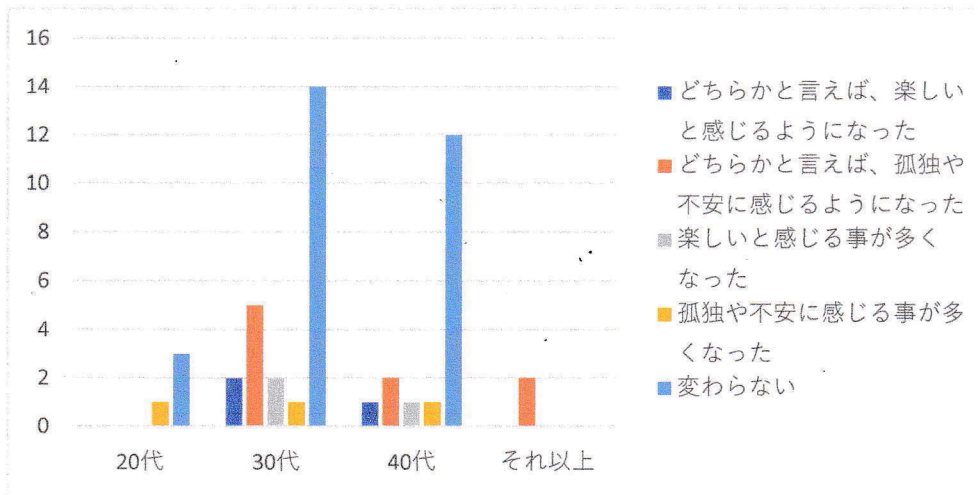


東濃圏域

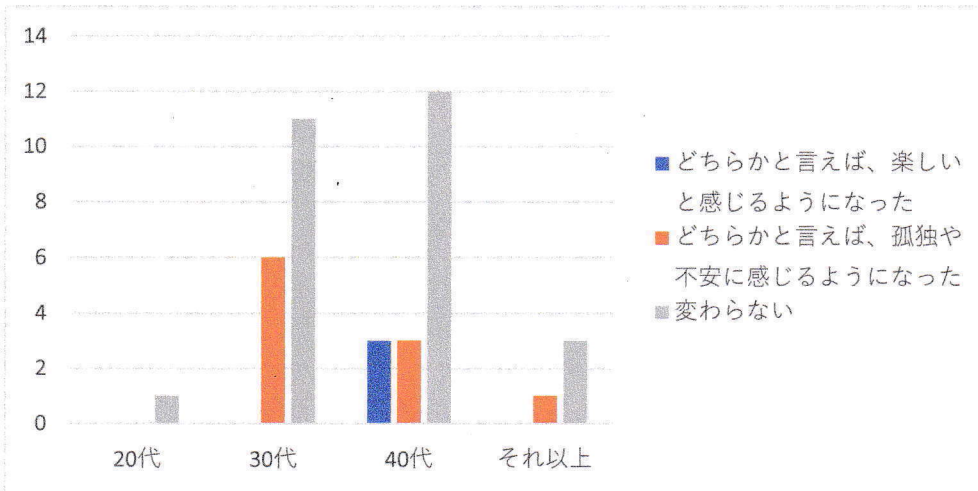


新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について
回答者の年齢別グラフ

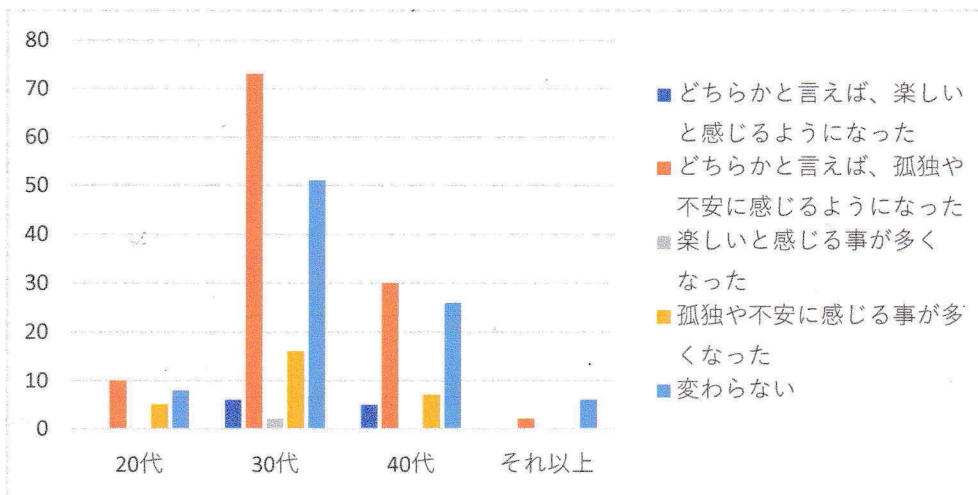
西濃圏域



中濃圏域

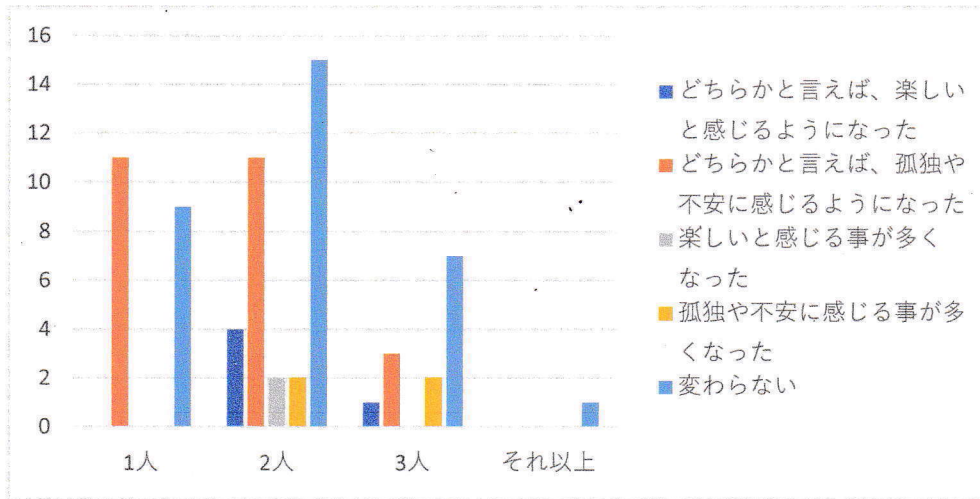


飛騨圏域

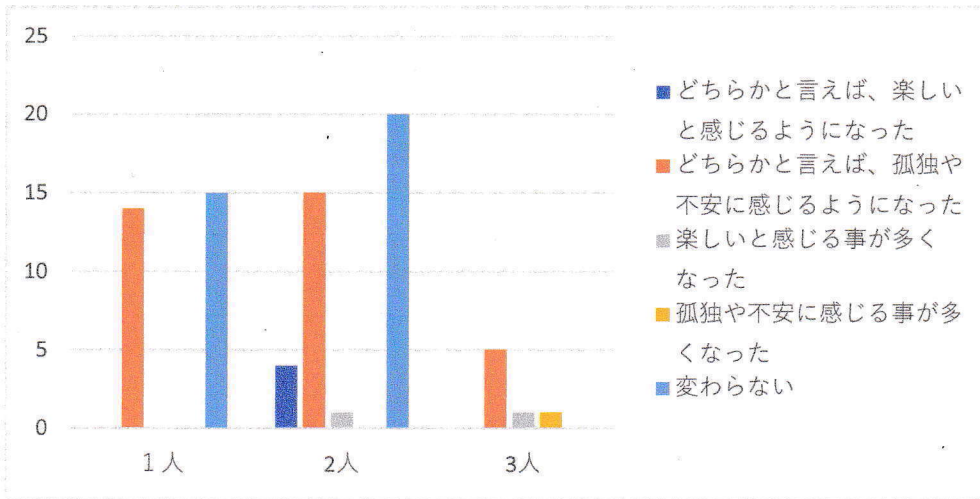


新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について
同居するお子さんの人数別グラフ

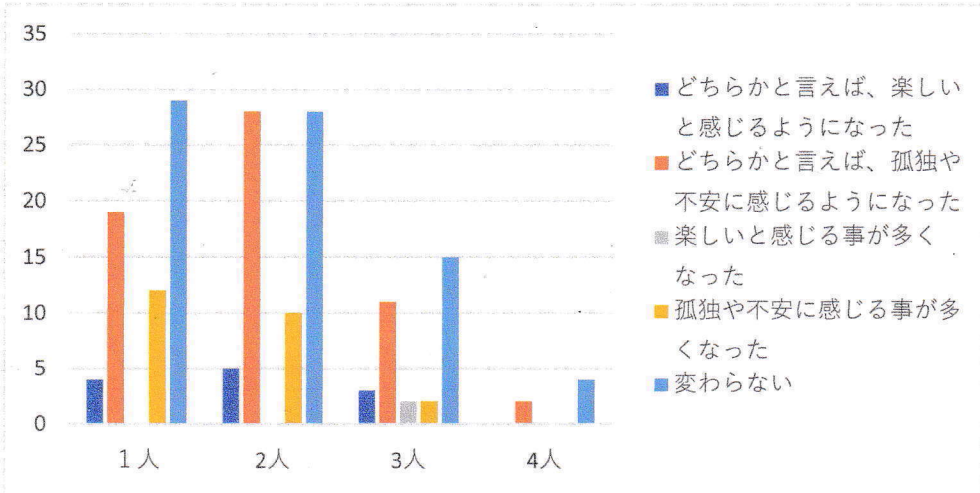
岐阜市内



岐阜圏域

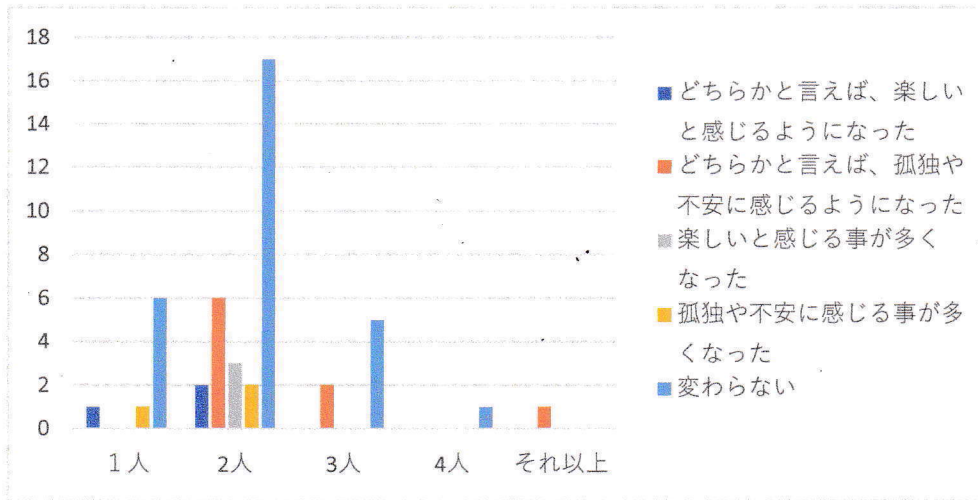


東濃圏域

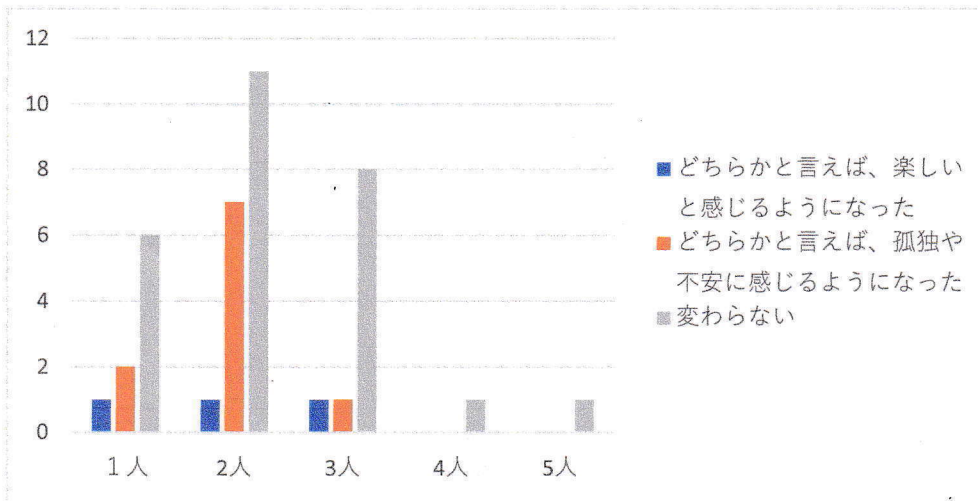


新型コロナウイルス感染症の流行前と流行後で、子育てへの感じ方の変化について
同居するお子さんの人数別グラフ

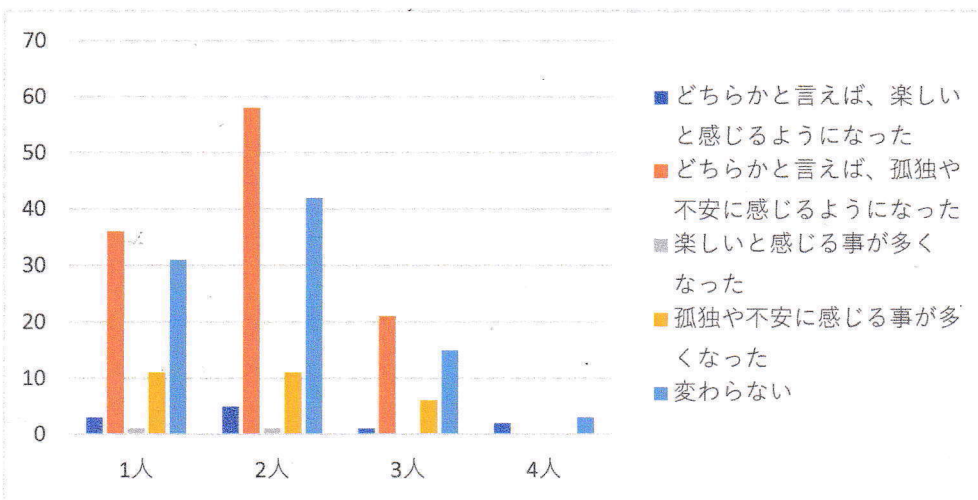
西濃圏域



中濃圏域



飛騨圏域



【全体を見ての考察】

- ①圏域ごとの調査をしてみて、都市部、都市部周辺と東濃や飛騨では、コロナ禍における子育ての家庭の実態に多少の違いがみられる。

この調査を始める前に、飛騨圏域でのコロナ禍における孤独・孤立の状況がかなり深刻だったことから、岐阜県全体を調査した場合、同じような実情が浮かび上がってくるのではないかと仮説を立てた。

しかしながら、調査を実施してみて、都市部や都市部周辺は飛騨圏域と比べるとそれほど孤立や孤独の度合いは深刻ではなく、地形や人口分布といった、環境要因によっても孤独・孤立の実態は変わってくるように思われる。

- ②クロス集計から読み取れるのは、孤独や不安を感じる世代として、30代、40代が多い事である。

特に飛騨圏域においては、30代の保護者の割合が突出しており、コロナ禍において一人目の子育てが始まり、交流する場、相談する場が失われる中、孤独を感じる母親が多かったという事が伺われる。

- ③また、子どもの人数別の実態については、子どもが1人、もしくは2人いる家庭において、孤独を感じるという人が多く見られた。

更には、子どもが2人いるという家庭の方が、より孤独を感じる傾向にあり、小さな子と上の子を抱えて子育てに孤軍奮闘する母親が、家で子ども達とだけ過ごす中で、負担や不安が増大していったという事が伺われる。

- ④東濃圏域、飛騨圏域では多くの保護者に答えてもらう事ができ、その中でそれぞれの保護者が抱える切実な声、深刻な実情がたくさん寄せられた。

中には、本当に心配になる状況の家庭も見られたことから、今後、そのような家庭をいかに見つけ出し、適切な支援を行う事ができるか、という事が大切になってくると思う。

行政や専門機関にコロナ総合相談窓口が設置され「どんな事でもいいので、気軽に相談して下さい」と呼び掛けられてはいるが、実際、子育て当事者にしてみれば、そのような窓口はハードルが高いのでは...という事を、今回のアンケート結果から実感した。

まだまだ収束する気配のないコロナ禍において、民間の子育て支援団体と行政がしっかりと連携をとり、いかにして困難な状況にある子育て家庭を見つけ出し、支援の手を差し伸べていくのか、という対応策を考えていかないといけないと思う。

***この度は、このような機会を頂き、本当にありがとうございました。**

この調査結果が、子育て支援に携わるたくさんの方々の参考になれば幸いです。

〒506-0031 岐阜県高山市西之一色町3丁目820-1
飛騨高山・森のエコハウス内

特定非営利活動法人

飛騨高山わらべうたの会

Tel & Fax 0577-57-8577

